TOSHIBA

Leading Innovation >>>

東芝ポータブルメディアプレーヤー

gigabeat T401/T802

取扱説明書

T401はファームウェアバージョン2.0対応

東芝およびマイクロソフト社からのご注意！

（本機はマイクロソフト社ポータブル メディア センター用Microsoft® Windows Mobile® Softwareを使用しています）

⚠ 警告

自動車を運転中には、本機を使用しないでください！

法的に禁止されている、運転中の携帯電話使用禁止と同様です。
事故は突然起こります。ハンドルをしっかりと握り、運転に集中してください。
どうしても聴きたい場合には、緊急自動車などのサイレンやクラクション、踏切の警報音など、安全のために外の音が聞こえるよう音量を抑えてください。
運転中に、本機の設定を変えたり、操作をする必要がある場合には、いったん車を停止してから操作を実施してください。
東芝およびマイクロソフトは、自動車などの運転中に上記の機器やソフトウェア製品を使うことに関し、その安全性や合法性を意図せず一切の保証や責任を負いません。

一般的操作

運転中のスクリーン凝視禁止！
運転中に、長時間スクリーンを凝視するような機能の操作はしないでください。時間を要する操作を行う際は、安全かつ適法な範囲内で、事前に車を停車してください。たとえスクリーンを短時間見ての操作であったとしても、運転から注意がそらされる行為は、事故がおきる原因にもなり非常に危険です。

音量の適度な設定！
音量を過度に上げないでください。運転中、外部の交通騒音や緊急信号音が聞こえる程度に音量を抑えてください。運転中、こうした音声が聞こえないと、事故につながるおそれがあります。

お客様の健康のために！

ヘッドホンを使用するときは、音量を上げすぎないでください。また、長時間連続しての使用は避けてください。大きな音量で聴き続けると、難聴その他の障害の原因になるおそれがあります。通常の音量であっても長時間の使用によっては、難聴などになるおそれがあります。医学的にも悪影響が指摘されています。

周囲の人たちへの配慮も忘れないようにご留意ください。

はじめに

ソフトウェアおよび取扱説明書について

- 添付（付属の CD-ROM）のソフトウェアおよびこの取扱説明書の一部または全部を許可無く転載したり複製したりすることはできません。
- 添付のソフトウェアおよびこの取扱説明書は、お客様のパソコン等で使用できます。
- 意匠、仕様、ソフトウェアおよびこの取扱説明書の内容は、改良のため予告無く変更することがありますのでご了承ください。
- この取扱説明書で記載しているパソコンの画面は一例です。実際の画面と異なる場合があります。また、記載の誤りなどについての補償はご容赦ください。

商標について

- gigabeatは株式会社東芝の登録商標です。
- Microsoft、Windows、Windowsロゴ、Windows Vista、Windows Media、Windows Mobileは米国マイクロソフト社の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Adobe、Adobeロゴ、Readerは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。
- Macintoshは、Apple Inc.の登録商標です。
- AirStation、AOSSは株式会社バッファローの商標です。
- BBモバイルポイントはソフトバンクテレコム株式会社の商標です。
- ホットスポットはNTTコミュニケーションズ株式会社の登録商標です。
- Mzoneは株式会社NTTドコモの登録商標です。
- GyaOは株式会社USENの登録商標です。
- 取扱説明書に記載の商品の名称は、それぞれ各社が登録商標または商標として使用している場合があります。

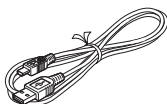
著作権について

- お客様が記録したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- 音楽、映像、コンピュータ・プログラム、データベースなどは著作権法によって、その著作者および著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的にまたは家庭内で使用する目的でのみ行うことができます。上記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製（データ形式の変換を含む）、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「著作権侵害」「著作者人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰の適用を受けます。本製品を使用して複製などをする場合には、著作権法を遵守の上、適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。

データについて

- 本製品やパソコンの不具合で、音楽データやその他のデータが破損または消去された場合、そのデータ内容の補償はできません。

付属品を確認する

- ヘッドホン

- 安心してお使いいただくために
- さあ始めよう
- 保証書／お客様登録のお願い

ラジオ・テレビなどへの電波障害について

- この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取扱いをしてください。

本製品について

- この製品は、著作権に関する法律および国際条約により保護されています。
  RSA Data Security, Inc.からライセンス供与を受けたセキュリティソフトウェアを含んでいます。このソフトウェアの一部は、Independent JPEG Group の技術を部分的に利用しています。
- 本製品は、Microsoft　Corporationの知的財産権によって保護されている技術を含んでいます。本製品にインストールされた形以外での前述の技術の利用もしくは配布は、Microsoftもしくは権限を有するMicrosoftの子会社によるライセンスが無い限り禁止されています。

もくじ

安全上のご注意

商品（または製品）本体および取扱説明書には、お使いになるかたや他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。次の内容（表示、図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

表示の説明

表 示	表 示 の 意 味
⚠ 危険	“取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（*1）を負うことがあり、その切迫の度合いが高いこと”を示します。
⚠ 警告	“取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（*1）を負うことが想定されること”を示します。
⚠ 注意	“取扱いを誤った場合、使用者が傷害（*2）を負うことが想定されるか、または物的損害（*3）の発生が想定されること”を示します。

*1：重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
*2：傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが・やけど・感電などをさします。
*3：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

図記号の例

図 記 号	図 記 号 の 意 味
🚫 禁 止	“🚫”は、**禁止**（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
● 指 示	“●”は、**指示**する行為の強制（必ずすること）を示します。 具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

⚠警告

異臭・発煙・過熱などの異常が発生したときはUSBケーブルを取りはずし、電源を切ること

そのまま使用すると火災・やけどの原因となります。修理はモバイルAVサポートセンターにご依頼ください。

異物や水などが機器の内部にはいったときはUSBケーブルを取りはずし、電源を切ること

そのまま使用すると火災の原因となります。モバイルAVサポートセンターにご連絡ください。

機器を落としたり、キャビネットを破損したりしたときはUSBケーブルを取りはずし、電源を切ること

指　示

そのまま使用すると火災の原因となります。モバイルAVサポートセンターにご連絡ください。

分解・改造・修理しないこと

火災の原因となります。修理、内部の点検はモバイルAVサポートセンターにご依頼ください。

金属類や燃えやすいものなど異物を内部に入れないこと

火災の原因となります。端子、その他の穴や隙間に、異物を入れたり落とし込んだりしないでください。

水がかかる場所で使用しないこと

火災の原因となります。雨天・降雪・海岸・水辺での使用は特にご注意ください。

風呂場・シャワー室で使用しないこと

火災の原因となります。

歩行中、自動車・オートバイなどを運転中に操作しないこと

禁止

転倒・交通事故の原因となります。
周囲の音に気付かずに、思わぬ事故にあう原因となります。

屋外で雷鳴が聞こえた場合または稲妻が光った場合は、直ちに本製品の使用を中止して身体から離してください。

指示

本製品は金属を含んでいるため、落雷による火災・感電・やけど・負傷のおそれがあります。

機器から液がもれたり、異臭がしたりするときは、直ちに火気から遠ざけること

指示

機器からの液もれは、内蔵電池からの液もれです。
もれた液に引火し、破裂する原因となります。モバイルAVサポートセンターに修理をご依頼ください。

内蔵電池は、指定された充電方法以外で充電しないこと

禁止

火災・破裂・発熱の原因となります。

火のそばや炎天下などで充電したり、放電しないこと

禁止

内蔵電池から液もれし、引火・破裂の原因となります。

梱包に使用しているビニール袋でお子様が遊んだりしないように、注意すること

指示

かぶったり飲み込んだりして窒息するおそれがあります。

⚠注意

湿気・湯気・油煙・ほこりの多い場所で使用しないこと

火災の原因となることがあります。

禁　止

移動させるときはUSBケーブルをはずすこと

USBケーブルが傷つき、火災の原因となることがあります。

指　示

付属のCD-ROMを音楽用CDプレーヤーなどで再生しないこと

ヘッドホンやスピーカーを破損したり、耳を傷めたりするおそれがあります。

禁　止

持ち運ぶときに振り回さないこと

人やものに当たってけがの原因となることがあります。

禁　止

落としたり、強い衝撃を与えたりしないこと

破損して火災の原因となることがあります。

禁　止

機器から液がもれたときは、液には触れないこと

機器からの液もれは、内蔵電池からの液もれです。
液が目にはいったり、皮膚についたりすると、目や皮膚に障害を与えるおそれがあります。目にはいったときは、すぐにきれいな水で十分洗い、直ちに医師の診察を受けてください。皮膚や衣服についたときは、すぐにきれいな水で洗い流してください。

禁　止

皮膚に異常を感じたときは、すぐに使用を中止し、必ず皮膚科専門の医師に相談すること

この商品に使用している材料、表面処理によって、まれに、お客様の体質・体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などを生じる場合があります。

指　示

温度の高い場所に置かないこと

禁　止

直射日光の当たる場所・閉め切った自動車内・ストーブのそばなどに置くと、発熱・火災の原因となることがあります。また、破損してけがの原因となることがあります。

ヘッドホンを使用するときは、音量を上げすぎないこと

禁　止

耳を刺激するような大きな音量で聴くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

表示画面に衝撃を与えないこと

禁　止

破損したり、ガラスが割れたり、内部の液がもれたりすることがあります。内部の液が目にはいったり、体や衣服についたりしたときはきれいな水で洗い流してください。目にはいった場合は、その後医師の診察を受けてください。

乳幼児の手の届かないところに保管すること

指　示

けが・事故の原因となります。

布やふとんの上に置いたり、覆ったりしないこと

禁　止

熱がこもってキャビネットが変形し、火災の原因となることがあります。風通しのよい状態でご使用ください。

⚠警告

付近に心臓ペースメーカを装着されている方がいる可能性がある場所では、gigabeatの電源を切ること

電波によりペースメーカの動作に影響を与えるおそれがあります。

心臓ペースメーカの装着部位から22cm以上離すこと

電波によりペースメーカの動作に影響を与えるおそれがあります。

病院などの医療機関内、医療用電気機器の近くでは gigabeat の電源を切ること、また、医療用電気機器を近づけないこと

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くでは gigabeat の電源を切ること

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

航空機内および周辺に電波障害などが発生する場所では、gigabeatの電源を切ること

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

航空機内で無線通信機器を使用することは航空法で禁止されています。

本機を使用中に他の機器に電波障害などが発生した場合はgigabeatの電源を切ること

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

使用上のお願い

取扱いに関すること

- 強い衝撃を与えないでください。固いものにぶつけたり、落としたり投げたりしないでください。破損や記録済みの内容が破壊される原因となります。また、その他の故障や動作不良を招くおそれがあります。
- 表示画面に無理な力を加えないでください。破損の原因となります。
- 硬いものといっしょにかばんなどに入れると、押されたときなどに壊れるおそれがあります。
- 殺虫剤や揮発性の薬品などの付着を避けてください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。変色や、塗料がはげるなどの原因となります。
- ズボンのポケットなどに入れないでください。座ったときなどに大きな力が加わり、壊れるおそれがあります。
- 前面の操作ボタンを強く押し込まないでください。内部の部品に大きな力が加わり、壊れたり動作不良になったり故障したりするおそれがあります。

使用する場所について

- gigabeatをラジオ、テレビ、携帯電話などの近くでご使用になると、受信障害の原因となることがあります。その場合は、gigabeatを離してご使用ください。
- 混雑した電車内などで、大きな音量で聴くと周囲の迷惑になります。

結露（露付き）について

- gigabeatを寒いところから急に暖かいところに持ちこんだときや、寒い室内で急に暖房したようなときには、本体の表面に水滴が付くことがあります。このような場合には、内部にも水滴が付いていることがありますので、電源を入れずに1時間ほどたってからご使用ください。

お手入れに関すること

本体のよごれはやわらかい布（ガーゼなど）で軽くふき取ってください。ティッシュペーパーや硬い布は使わないでください。

- ベンジンやシンナーなど有機溶剤、石油類は絶対に使用しないでください。本体表面を変質させます。
- 油汚れなどが付いたときは、弱い中性洗剤を薄めたものをやわらかい布にしみこませ、それを固く絞って使用し、その後、温水に浸して固く絞った布で十分にふき取ってください。ただしわずかに表面が変質することがありえます。あらかじめご承知ください。
- 特に表示画面については気をつけてください。

音楽CDについて

- ディスクレーベル面に COMPACT disc DIGITAL AUDIO マークのはいったものなどJIS規格に合致したディスクをご使用ください。CD規格外ディスクを使用された場合には安定した再生や最良な音質などの保証はいたしかねます。また、故障の原因となる場合もあります。

ユーザー登録のお願い

- ユーザー登録をしていただいたお客様には、gigabeatに関するサービスや製品情報の案内をさせていただく場合がありますので、下記web サイトで、ユーザー登録にご協力いただきますようお願いいたします。
  http://room1048.jp/

バージョンアップについて

- 出荷以降、より良くお使いいただくために、搭載ソフトウェアのバージョンアップをする場合があります。バージョンアップの方法などはホームページに掲載いたします。
  gigabeatホームページ　http://www.gigabeat.net/
  ホームページをご覧いただけないお客様は「モバイルAVサポートセンター」へお問い合わせください。

廃棄・譲渡時のデータ消去に関するご注意

- gigabeatには、フラッシュメモリが内蔵されています。フラッシュメモリを使用していた状態のまま廃棄・譲渡すると、フラッシュメモリ上の情報を第三者に見られてしまうおそれがあります。廃棄・譲渡するときは、フラッシュメモリ上のすべてのデータを消去してください。

内蔵電池について

- gigabeatの内蔵電池は、リチウムイオン充電池を使用しています。
- 内蔵電池は、gigabeatを使用しなくても少しずつ自然放電していきます。gigabeatを長時間放置しておいた場合、内蔵電池が放電しきり動作しなくなる場合があります。その場合は、充電してからご使用ください。
- 充電時間は内蔵電池の状態や周囲の温度などによって変わります。
- 低温の環境で使用すると、連続再生時間が短くなります。
- 内蔵電池は約500回充電できます。（参考値であり、保証する値ではありません）
- 内蔵電池は消耗品です。繰り返し使用していると、使用できる時間が徐々に短くなります。十分に充電しても使える時間が極端に短くなったときは内蔵電池が劣化しています。モバイルAVサポートセンターに依頼して、新しい電池と交換してください。
- 内蔵電池が放電しきったことによって、記憶データが変化・消失しても当社は一切責任を負いません。あらかじめご了承ください。

内蔵電池のリサイクルについて

gigabeatの内蔵電池に使用しているリチウムイオン充電池はリサイクル可能な貴重な資源です。gigabeatを廃棄する際には電池を取り出し、充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

充電式電池の回収、リサイクルおよびリサイクル協力店に関するお問い合わせ先

有限責任中間法人JBRC

TEL：03-6403-5673

ホームページ：http://www.jbrc.com

また、廃棄するとき以外は、gigabeatを絶対に分解しないでください。

電池の取り出しかたについては、「内蔵電池の取り出しかた」（➔148ページ）をご覧ください。

ヘッドホンの帯電について

湿度が低いときなど環境によっては、着衣などがこすれて発生した静電気がケーブルを伝ってヘッドホンからパチッと放電することがありますので、ご注意ください。なお、この現象は故障によるものではありません。

免責事項について

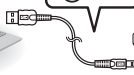
- 地震や雷などの自然災害、火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用によって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 本製品および本製品に付属のソフトウェアの使用、または使用不能から生じた損害、逸失利益および第三者からのいかなる請求等について、当社は一切の責任を負いません。
- 本製品に付属の取扱説明書の記載内容を守らないことによって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 当社が関与しない接続機器、ソフトウェアなどとの意図しない組み合わせによる誤動作等から生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- お客様ご自身または権限のない第三者が修理・改造を行った場合に生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 本製品に関し、法律の定める範囲において、いかなる場合も当社の費用負担は本製品の個品価格以内とします。
- 記憶装置（フラッシュメモリなど）に記録された内容は、故障や障害の原因に関わらず保証いたしかねます。
- 修理や点検のとき、お客様が記録した音楽データなどが消去される場合があります。あらかじめご了承ください。

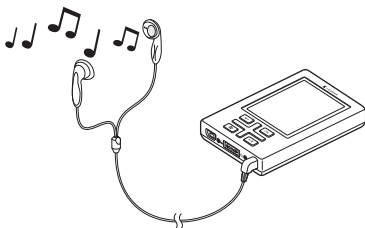
gigabeatの楽しみかた

gigabeatで聴く・見る手順

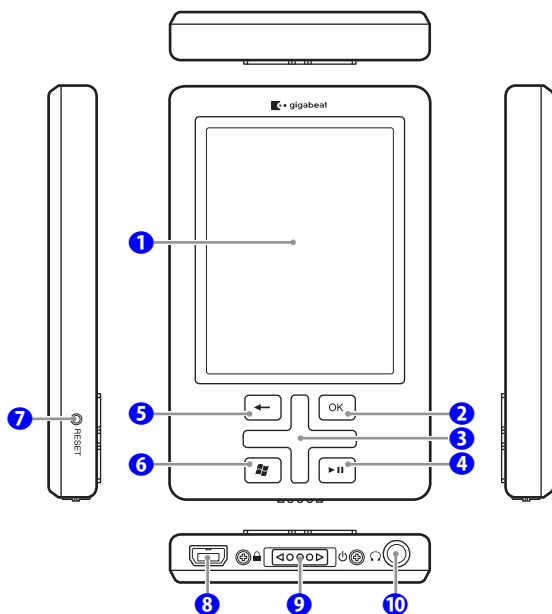
gigabeatで音楽を聴く、画像を見る、動画を見る手順は以下のようになります。実際の説明は、本ページ以降をご覧ください。

1 パソコンを準備

2 gigabeatを充電

3 gigabeatにデータを転送

4 音楽を聴く／画像を見る／動画を見る

また、無線LANで、ポッドキャストのコンテンツをダウンロードでき、聴けます。（「ポッドキャストを楽しむ」（➔100ページ）をご覧ください。）

各部のなまえとはたらき

本体

❶ 表示画面（カラー液晶）

❷ OKボタン （➔28ページ）

❸ プラスボタン （➔28ページ）

❹ ►II再生／一時停止ボタン （➔28ページ）

❺ ←バックボタン （➔28ページ）

❻ スタートボタン （➔28ページ）

❼ リセットスイッチ （➔140ページ）

❽ USB2.0コネクター
USBケーブルを差し、パソコンと接続します。

❾ ⏻電源／🔒ロックスイッチ
⏻の方向にスライドさせると電源がはいります。
🔒の方向にスライドさせておくと、本体の操作を受け付けなくなり、意図しない操作を防ぐことができます。

❿ ヘッドホンジャック

パソコンを準備する

パソコン動作環境（*1）

以下の条件を満たすパソコン動作環境が必要です。

項目	条件
□ OS	Microsoft® Windows Vista® / XP Home Edition / XP Professional / XP Media Center Edition（日本語版標準インストール機のみ対応）（Windows® XP：Service Pack 2推奨）
□ CPU	Windows Vista®：800MHz以上（1.5GHz以上推奨） Windows® XP：300MHz以上（1.5GHz以上推奨）
□ メモリ	Windows Vista®：512MB以上（1GB以上推奨） Windows® XP：128MB以上（512MB以上推奨）
□ ハードディスク容量	200MB 以上
□ 接続インターフェース	USB 2.0 / USB 1.1（*2）
□ CD-ROM ドライブ	ソフトウェアインストールに必要
□ ソフトウェア	Windows Media® Player 11 / Windows Media® Player 10

（*1）すべてのパソコンでの動作を保証するものではありません。Macintosh® には対応していません。

（*2）USB 2.0で動作するには、USB 2.0インターフェースを標準搭載または増設しているパソコンが必要です。USB 1.1インターフェースと接続するとUSB 1.1として動作します。

ソフトウェアをインストールする

パソコンにgigabeatを接続して充電する、または、音楽、動画（ビデオなど）、画像のデータをパソコンからgigabeatに転送するには、Windows Media Player 11または10（*3）が必要です。

Windows Media Player 11（*4）がインストールされていなければ、以下のように、付属のCD-ROMからWindows Media Player 11または10をインストールしてください。

（*3）Windows Media Player 10の場合は、修正プログラムのインストールが必要です。したがって、Windows Media Player 10をお使いの場合も、付属のCD-ROMからインストールを行ってください。必要な修正プログラムもインストールされます。なお修正プログラムのインストールには、Windows XPではService Pack1以上である必要があります。

（*4）Windows Vistaがインストールされたパソコンには、最初からWindows Media Player 11がインストールされています。

お願い

- パソコンとgigabeatを正常に接続するために、必ず先にWindows Media Player 11または10をインストールしてください。
- また、より新しい修正モジュールが公開されている可能性がありますので、インストール後はパソコンでWindows Updateを実行することをお勧めします。

1 付属のCD-ROM をパソコンに入れる

CD-ROM が自動認識され、アプリケーションソフトウェアのインストールメニューが表示されます。表示されない場合は、エクスプローラなどからCD-ROM 中の［Launcher.exe］をダブルクリックしてください。

2 ［Windows Media Player 10/11のインストール］ボタンをクリックする

3 画面に従って、インストールする

パソコンのOSによって、Windows Media Player 11またはWindows Media Player 10がインストールされます。（Windows XP Service Pack 2またはそれ以降、またはMedia Center Edition 2005 Rollup2またはそれ以降の場合は、Windows Media Player 11がインストールされ、それ以前の場合はWindows Media Player 10がインストールされます。）

インストールメニューは［閉じる］ボタンをクリックすると閉じます。

内蔵電池を充電する／パソコンと接続する

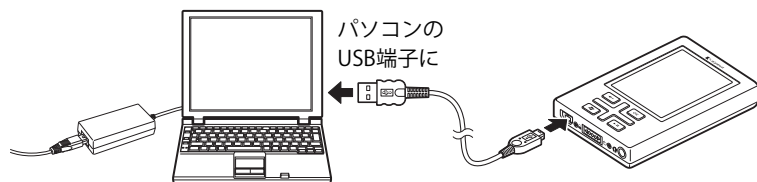
gigabeatの内蔵電池を充電するため、パソコンとUSB接続します。
gigabeatに音楽などを転送するため、パソコンとUSB接続します。
購入後初めて使うとき、または長い間使わなかったあとは、十分に充電してください。

1 パソコンを起動する

2 パソコンとgigabeatを付属のUSBケーブルで接続する

約4時間（*1）でフル充電になります。
（*1）：gigabeatに転送しない状態、常温（25℃）、新品の内蔵電池の場合です。

お願い

- パソコンにWindows Media Player 11または10がインストールされていないと、gigabeatが正常に接続できません。接続する前に必ずWindows Media Player 11または10をパソコンにインストールしてください。（➔21ページ）

- パソコンのACアダプターは接続した状態にしてください。
- gigabeatの電源を入れていなくても自動的に電源がはいり、充電が行われます。
- 初めて電源を入れたときは、日付と時刻の設定画面が表示されますので、設定してください。（➔111ページ）
- gigabeat には右のような「接続されました」の画面が表示されます。
- Windows Media Player 11 または 10 がインストールされていないパソコンにgigabeatを接続すると、「新しいハードウェアの検出ウィザード」が起動しますが、これはキャンセルしてください。必ず先にWindows Media Player 11または10をインストールしてください。（➔22ページ）

- Windows Media Player 10がインストールされていても、「新しいハードウェアの検出ウィザード」が表示されることがあります。これは必要なドライバがインストールされていないことで起きるので、付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブに入れてください。必要なドライバが自動的にインストールされます。
- 初めて接続したときは、gigabeatが接続されたときに実行する動作を選ぶ画面がパソコンに表示されます。すぐに音楽などの転送をしない場合は、[キャンセル]をクリックしてください。(➔33ページ)
- 画面右下のバッテリーアイコンが充電中アイコンになります。(➔31ページ)

バッテリーアイコンの表示	内蔵電池の状態
	充電中
	充電完了

お知らせ

- 内蔵電池の残量は、画面のバッテリーアイコンで確認できます。(➔31ページ)
- パソコンとgigabeatを接続したときは、gigabeat の操作はできません。また、再生中に接続すると、再生は止まります。
- 電池残量がないときは、少し充電されるまで「接続されました」の画面になりません。
- USB 接続の充電は、パソコン本体のUSB バス電源供給機能の性能によるため、パソコンの機種によっては充電できない場合があります。
- 充電できないパソコンとUSB接続したとき、接続がすぐ切れ、パソコン本体のUSB機能が一時的に使えなくなる場合があります。その際はgigabeatをはずし、パソコンを再起動してください。
- USBハブを使用してパソコンと接続した場合の動作は保証できません。
- 充電中の表示にならない場合は、「故障かな…？と思ったときは」(➔139ページ)をご覧ください。
- 充電時間は内蔵電池の状態や周囲温度などによって変わります。
- 内蔵電池の充電は、使用条件の温度範囲内（5℃～35℃）で行ってください。範囲をはずれていると充電できないことがあります。
- gigabeat本体の温度上昇を制限するために一時的に充電を停止することがあります。温度が下がると再び充電が開始されますので、そのままにしておいてください。
- gigabeatを使用中に、下のようなメッセージが表示された場合は、十分に充電してください。
  「バッテリーの残量が少ないので、gigabeatの電源が間もなく切れます。」

- 内蔵電池の残量がなくなって電源が切れた場合は、十分に充電してからお使いください。充電が不十分だと電源がはいらない場合があります。

（別売の専用USB ACアダプターによる充電について）

- 別売の専用USB ACアダプター（形名MEPUAA10）を使って充電することができます。その場合は、充電中も、音楽を聴くなどのgigabeatの操作ができます。
- 専用USB ACアダプター以外のUSB ACアダプターは使用しないでください。動作保証できません。

お願い

- gigabeatをパソコンに接続したままでパソコンを起動、再起動、レジュームをした場合に、まれにパソコンによっては起動途中で停止することがあります。この現象が起きた場合は、gigabeatをパソコンから取りはずしてから、パソコンを再起動してください。
- gigabeatをパソコンに接続したままで、パソコンがスタンバイまたは休止状態になって復帰した場合、パソコンとgigabeatが正常に接続されないことがあります。その場合はパソコンとgigabeatを接続し直してください。

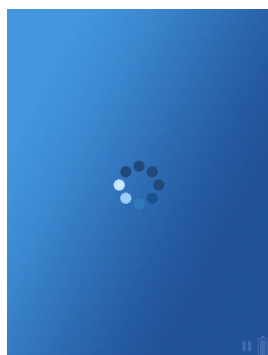
パソコンからgigabeatを取りはずす

インジケーターの回転が止まり、「接続されました」の画面（➔23ページ）のときに、gigabeatからUSBケーブルを抜いてください。

お願い

- パソコンとgigabeat の間でデータをやり取りしている場合は、gigabeat の画面上に「更新しています」などのメッセージが表示されます。このような処理中の画面（*1）のときには、USBケーブルを抜いたり差したりしないでください。gigabeatに記録されているデータが破壊されることがあります。

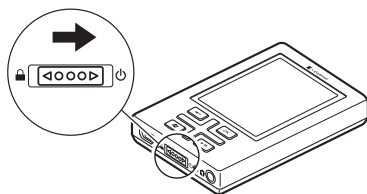
（*1）：gigabeatの表示画面に、下図のようにインジケーターが回転表示しているとき。

（「初期化しています」、「完了しています」などもあります。）

（パソコンと接続してないときで、処理中のとき）

電源を入れる／切る

1 電源を入れるには⏻電源スイッチを⏻の方向にスライドさせて放す

電源を切るには、電源がはいった状態でもう一度⏻電源スイッチを⏻の方向にスライドさせて放します。

初めて電源を入れたときは、日付と時刻の設定画面が表示されます。日付と時刻を設定してください。（➔111ページ）

お知らせ

- ヘッドホンジャックにヘッドホンを接続しても、電源がはいります。ただし、ロック状態（ロックスイッチが🔒の方向にスライドした状態）では、電源ははいりません。また、ヘッドホンジャックを抜いても自動的に電源は切れません。
- ビデオデータの再生中、フォトデータのスライドショー中、USB 接続中などを除き、一定時間何も操作しないと、画面はバックライトオフになり、最後の操作から約10分たつと電源が切れます。音楽の再生中はバックライトオフになりますが自動的に電源は切れません。

  参照：「バックライトオフの時間を設定する」（➔114ページ）

  バックライトオフとは液晶画面のバックライトを消して画面が何も見えない状態を言います。
- 画面がバックライトオフのときに本体のボタンを押すと、画面が点灯し、その操作を受け付けます。

基本的な操作のしかた

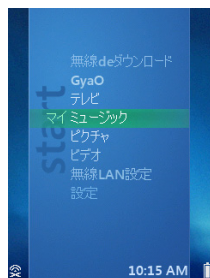
gigabeat のボタン名と機能

プラスボタン

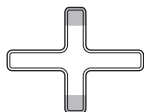
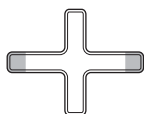
上／下／左／右いずれかを押して、実行したいメニュー、項目を選びます。
上／下を押して、音量を上げ／下げます。
左／右を押して前後にスキップします。（押し続けた場合は早戻し／早送りします。）

基本的な操作について

●スタート画面

gigabeatの基本となるスタート画面です。
この画面からすべてのメニューを選ぶことができます。
他の画面表示中にスタートボタンを押すと、スタート画面が表示されます。

［無線deダウンロード］　：ポッドキャストのコンテンツをダウンロードする場合に選びます。
［GyaO］　：GyaO の動画を視聴する場合に選びます。（*1）
［マイテレビ］　：パソコンから転送したテレビ番組（Windows Media Centerで録画したテレビ番組）を再生する場合に選びます。
［マイミュージック］　：パソコンから転送した音楽データを再生する場合に選びます。
ダウンロードしたポッドキャストの音声コンテンツを再生する場合に選びます。
［マイピクチャ］　：パソコンやデジタルカメラから転送したフォトデータを見る場合に選びます。
［マイビデオ］　：パソコンから転送したビデオデータを再生する場合に選びます。
ダウンロードしたポッドキャストのビデオコンテンツを再生する場合に選びます。
［無線LAN設定］　：無線LANの設定をする場合に選びます。
［設定］　：本機の各種設定を行う場合に選びます。

（*1）［GyaO］は、キャンペーン期間中だけのメニューです。キャンペーン期間が終わると選べなくなります。

● 項目の選択

プラスボタンの上または下を押すと、選択項目を移動できます。

プラスボタンの左または右を押すと、項目の画面を切り換えられます。

● 選択項目の決定

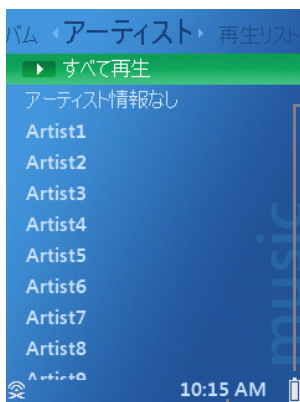
OK

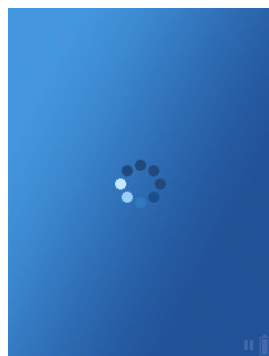
OKボタンを押すと、選んだ項目を実行します。

お知らせ

- 各画面は、大きな文字の画面に切り換えることもできます。「文字を大きくする」（➔117ページ）をご覧ください。

バッテリーアイコンと現在時刻表示

画面右下のバッテリーアイコンで内蔵電池の残量が確認できます。
また、バッテリーアイコンの左横に現在時刻が表示されます。
ただし、再生画面など、画面によっては現在時刻は表示されません。

待機画面

gigabeat が処理中である場合に表示されます。この画面が表示されている間は、gigabeat を操作することはできません。（インジケーターが回転表示しています。）回転表示が消えるのをお持ちください。

音楽データを準備する

音楽CDの曲をパソコンに取り込む

Windows Media Player 11または10を使って、音楽CDの曲をパソコンに取り込むことができます。パソコンに取り込んだ曲は、gigabeat に転送できます。

（Windows Media Player 11を使用する場合）

1 音楽CDをパソコンのCD-ROMドライブに入れる

2 Windows Media Player 11を起動する

3 上部の［取り込み］タブをクリックする

CD内の曲の一覧が表示されます。

4 取り込まない曲のチェックボックスをオフにする

リストの一番上にあるチェックボックスにチェックを付けると、すべての曲にチェックを付けたりはずしたりできます。

5 ［取り込みの開始］ボタンをクリックする

選択した曲の取り込みが始まります。

4チェックボックス　3［取り込み］タブ　5［取り込みの開始］ボタン

ℹ お知らせ

- Windows Media Player 10の場合でも概ね同様の操作で取り込めます。詳しくはWindows Media Player 10のヘルプをご覧ください。
- 選択した曲は、パソコンの［マイミュージック］フォルダに取り込まれ、Windows Media Player 11の［ライブラリ］で表示できます。
- ［取り込み］タブの下の▼をクリックして、［その他のオプション］の［音楽の取り込み］の設定画面で、取り込み場所、形式、音質などを変えることができます。
- パソコンをインターネットに接続している場合、音楽CDの情報がマイクロソフトのサーバーにあれば、自動的にアルバム名やタイトルが付きます。
- 詳しくは、Windows Media Player 11のヘルプをご覧ください。

音楽データを転送する

Windows Media Player 11または10を使って、パソコン内に入れたMP3、WMA (Windows Media Audio)、WMA 9 Lossless、WAV(Wave) の音楽データをgigabeat に転送（同期）できます。
音楽データは、音楽CDからでなく、オンラインストアを使って、購入、ダウンロードしてパソコン内に入れることもできます。詳しくは、Windows Media Player 11のヘルプをご覧ください。

（Windows Media Player 11を使用する場合）

1 パソコンとgigabeat を、USBケーブルで接続する

「内蔵電池を充電する／パソコンと接続する」（➔23ページ）をご覧ください。
gigabeatが接続されたときに実行する動作を選択する画面が表示されます。

2 ［デジタルメディアファイルをこのデバイスに同期させます Windows Media Player使用］を選択して［OK］をクリックする

今後gigabeatを接続したときに本画面を表示せず、自動的にWindows Media Player 11を起動させたい場合は、［常に選択した動作を実行する］のチェックボックスにチェックを入れます。
Windows Media Player 11が起動し、デバイスの設定の画面が表示されます。
この画面が表示されない場合は、Windows Media Player 11を起動してください。

3 ［次へ］をクリックする

Windows Media Player 11のライブラリに追加するファイルをパソコンの中から検索します。

4 検索が終了したら、［次へ］をクリックする

「デバイスを指定してください」の画面が表示されます。
すでに検索した場合は、手順3と4の操作は必要ありません。

5 以下に従って、［完了］または［キャンセル］をクリックする

（A：ライブラリ全体がgigabeatに収まる場合）

［キャンセル］：手動でgigabeatにデータを転送します。
手順6に進んでください。

［完了］：転送（同期）が始まります。次回からもgigabeatとパソコンを接続するたびに自動的に同期が行われ、gigabeatにデータが転送されます。

（B：ライブラリ全体がgigabeatに収まらない場合）

［完了］または［キャンセル］をクリックしてください。
手動でgigabeatにデータを転送します。手順6に進んで下さい。

Aの場合の画面

Bの場合の画面

6 Windows Media Player 11の［同期］タブをクリックし、転送（同期）したいデータを選ぶ

［カテゴリの選択］ボタンから、［音楽］を選んでおきます。

［カテゴリの選択］ボタン　［同期］タブ

7 選んだデータを右クリックして表示されるショートカットメニューから［“同期リスト”に追加］を選ぶ

画面右側の同期リストに、データが追加されます。

右側の同期リストのエリアにドラッグ＆ドロップしても、同期リストに追加できます。

8 右下の［同期の開始］ボタンをクリックする

同期が開始されます。

同期中は［同期の開始］ボタンが［同期の中止］ボタンに変わり、同期が終わると［同期の開始］ボタンに戻ります。

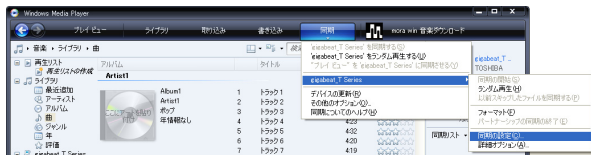
詳しくは、Windows Media Player 11のヘルプをご覧ください。

［同期の開始］／［同期の中止］ボタン

お知らせ

- Windows Media Player 10を使用する場合は、Windows Media Player 10のヘルプをご覧ください。
- ライセンス付き（DRM保護付き）WMAファイルは、そのライセンス条件によってgigabeat に転送できない場合があります。（Windows Media Player 10も同じです。）
- WMAファイルのフォーマットによっては、転送時にgigabeatに適した形式に変換処理が行われる場合があります。（Windows Media Player 10も同じです。）
- ファイルサイズが2GBを超える場合や収録時間が9時間6分を超える場合には、gigabeatでは正常に再生できません。（Windows Media Player 10も同じです。）
- パソコンとgigabeat の同期方法を変更するには、Windows Media Player 11 の［同期］タブの下の▼をクリックして、［gigabeat_T Series］の［同期の設定］を選んで設定してください。（➔36ページ）
- 同期を自動に設定した場合、同期済みのデータをパソコンから削除すると、パソコンとgigabeatを接続したときに、同期していた同じデータがgigabeatからも削除されます。したがって、gigabeatをパソコンのライブラリのバックアップ用に使うことは避けてください。
- gigabeatへのデータ転送は、必ずWindows Media Player 11または10をご使用ください。それ以外の方法は使用しないでください。

同期の設定（Windows Media Player 11の場合）

パソコンとgigabeat の同期方法を変更するには、パソコンにgigabeatを接続し、Windows Media Player 11の［同期］タブの下の▼をクリックして、［gigabeat_T Series］の［同期の設定］を選んで設定します。

以下の手順で同期させる再生リストを設定できます。

1 左上のチェック欄にチェックを入れる

2 ［使用可能な再生リスト］から同期させたい再生リストを選ぶ

3 ［追加］ボタンをクリックする

選んだ再生リストが［同期させる再生リスト］に移ります。

4 ［完了］ボタンをクリックする

同期させる再生リストが設定され、同期が始まります。

お知らせ

- ［同期させる再生リスト］から同期させたくない再生リストを選んで［削除］ボタンをクリックすれば、［同期させる再生リスト］から削除できます。

アルバムのジャケット写真を転送するには

アルバムのジャケット写真（アルバムアート）を転送するには、Windows Media Player 11または10でアルバムアート付きのアルバム情報を取り込んでおく必要があります。

アルバムアート付きのアルバム情報を取り込んだあと音楽データを転送すれば、アルバムアートも転送されます。

アルバム情報の取り込みかた

1 ［ライブラリ］タブで、アルバムを右クリックして、［アルバム情報の検索］をクリックする

2 取り込みたいアルバム情報を検索する

3 ［完了］をクリックする

アルバムアート（ジャケット写真）に好きな画像を登録する

アルバム情報の検索でアルバムアート（ジャケット写真）が取得できなくても、好きな画像をアルバムアートに登録することができます。

（Windows Media Player 11の場合）

1 パソコン上でアルバムアートとして登録したいJPEGファイルを右クリックし、［コピー］を選ぶ

2 Windows Media Player 11のライブラリで、登録したいアルバムを右クリックし［アルバムアートの貼り付け］を選ぶ

アルバムアートが登録されます。

3 アルバムアートを登録した音楽データをgigabeatに転送（同期）する

お知らせ

- JPEG ファイルを登録したいアルバムにドラッグ＆ドロップしてもアルバムアートが登録されます。

（Windows Media Player 10の場合）

1 アルバムアートとして登録したいJPEGファイルのファイル名を「Folder.jpg」に変更し、登録したいアルバムの音楽データがあるフォルダに入れる

2 Windows Media Player 10を起動する

3 アルバムアートを登録した音楽データをgigabeatに転送（同期）する

お知らせ

- Windows Media Player 10 では、メモリーサイズの大きな画像を登録するとgigabeatに転送されない場合があります。

音楽を聴く

音楽を選んで聴く

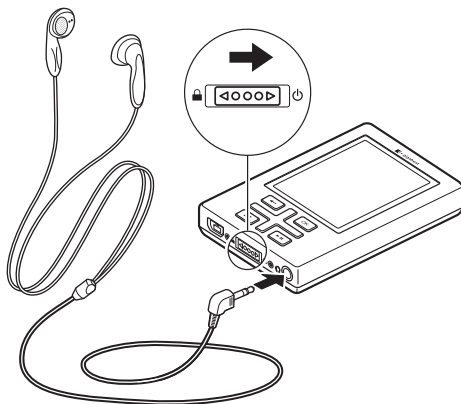
gigabeat に転送した音楽データの付加情報によって、「曲」、「ジャンル」、「アルバム」、「アーティスト」という分類から、目的の音楽を選ぶことができます。

お知らせ

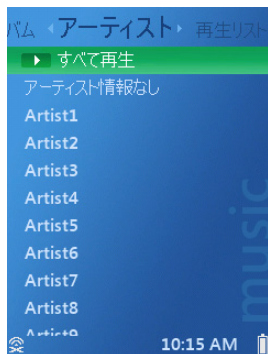
- アーティスト名、ジャンル名、アルバム名の情報がない音楽データはそれぞれ、「情報なし」としてグループ分けされます。

例：「アーティスト」から曲を選ぶ場合

1 ヘッドホンを（🎧）ヘッドホンジャックに接続して、電源を入れる

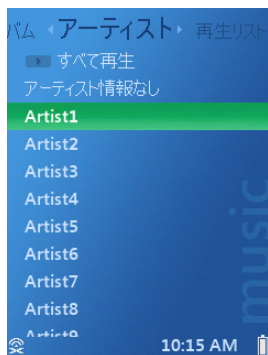
ヘッドホンジャックにヘッドホンを接続すると、自動的に電源がはいります。
すでにヘッドホンが接続されている場合は、⏻電源スイッチをスライドさせて電源を入れてください。

2 スタート画面から［マイミュージック］を選んで、OKボタンを押す

3 プラスボタンの左または右を押して、［アーティスト］画面を表示させる

本手順は［アーティスト］から曲を選ぶ場合ですが、ここで［曲］、［ジャンル］、［アルバム］、［再生リスト］を選んでも再生したい曲を選べます。

4 聴きたいアーティストを選んで、OKボタンを押す

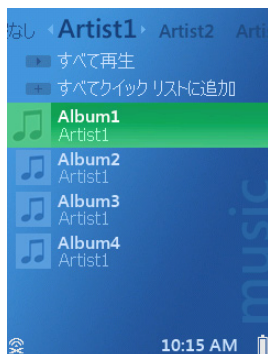
選んだアーティストのアルバムリスト画面が表示されます。

OK ボタンでなく►II再生／一時停止ボタンを押すと、選んだアーティストのすべての曲を再生します。

［すべて再生］を選ぶと、そのリストのすべての曲を再生することもできます。

5 聴きたいアルバムを選んで、OKボタンを押す

選んだアルバムの曲リスト画面が表示されます。

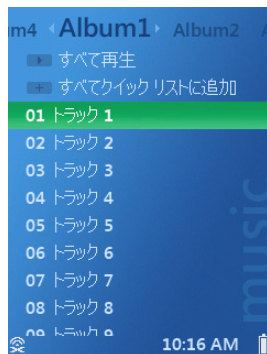
OK ボタンでなく►II再生／一時停止ボタンを押すと、選んだアルバムのすべての曲を再生します。

アルバムにはいっていない曲を選ぶこともできます。その曲を選んでOKボタンを押すと選んだ曲のタイトル画面が表示されます。

6 聴きたい曲を選んで、OKボタンまたは ►II再生／一時停止ボタンを押す

OKボタンを押した場合：

選んだ曲のタイトル画面が表示されますので、もう一度OKボタンを押します。音楽の再生が始まります。

►II再生／一時停止ボタンを押した場合：

音楽の再生が始まります。

お願い

- ヘッドホンのプラグは奥まで確実に差し込んでください。完全に差し込まれていないと、正しく動作しないことがあります。

お知らせ

- Windows Media DRM10で著作権保護されたWMAデータは下記のエラーを表示して再生できない場合があります。
  1)「この項目に対するライセンスの有効期限が切れています。」
  2)「この項目のライセンスに問題があります。」
  対処については、「エラーメッセージ（本体）」（➔132ページ）をご覧ください。

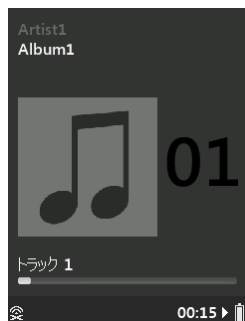
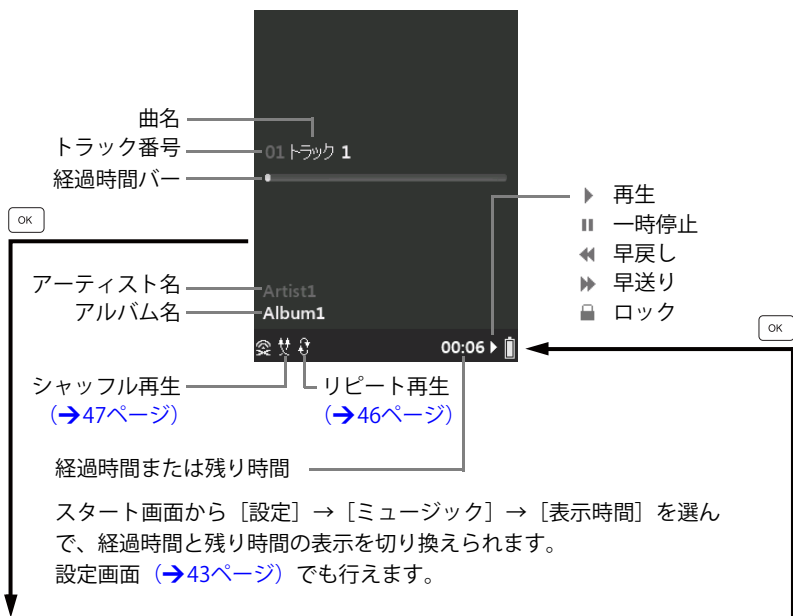
再生中画面

音楽の再生中には、次のような3種類の再生中画面と再生画面選択画面、曲の一覧画面、設定画面を表示することができます。3種類の再生中画面と再生画面選択画面は、OKボタンを押して、画面を切り換えます。

曲名
トラック番号
経過時間バー
01 トラック 1
OK
アーティスト名
アルバム名
Artist1
Album1
00:06
再生
一時停止
早戻し
早送り
ロック
OK

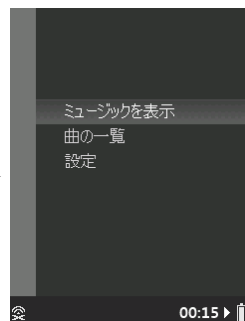
シャッフル再生 （➔47ページ）
リピート再生 （➔46ページ）

経過時間または残り時間

スタート画面から［設定］→［ミュージック］→［表示時間］を選んで、経過時間と残り時間の表示を切り換えられます。
設定画面（➔43ページ）でも行えます。

再生している音楽の情報、経過時間バー、経過時間または残り時間、ジャケット写真が表示されます。

OK

再生している音楽の大きいサイズのジャケット写真、経過時間または残り時間が表示されます。

OK

再生画面選択画面
［ミュージックを表示］を選んで OK ボタンを押すと、再生中画面に戻ります。

再生画面選択画面から、［曲の一覧］、［設定］のいずれかを選んでOKボタンを押すと、それぞれの画面を表示できます。

トラック 1
02 トラック 2
03 トラック 3
04 トラック 4
05 トラック 5
06 トラック 6
07 トラック 7
08 トラック 8
09 トラック 9
10 トラック 10
11 トラック 11
00:15

再生している音楽の曲の一覧、ジャケット写真の一部、経過時間の数値が表示されます。
←バックボタンを押すと、再生画面選択画面に戻ります。

音楽の再生方法やイコライザの設定、音楽データの評価を行います。
←バックボタンを押すと、再生画面選択画面に戻ります。

お知らせ

- 曲の一覧画面でOKボタンを押すと、選んだ曲の始めから再生します。
- 音楽の設定画面で［購入］をチェックしておくと、次回gigabeatをパソコンに接続すると、ご使用のインターネットブラウザに、オンライン購入を行うためのWebページが表示されます。
- ジャケット写真が転送されていないとジャケット写真は表示されません。

再生中にできること

音量を調整する

再生中画面表示中に、プラスボタンの上または下を押す

押すと、音量表示が約1秒間表示されます。
押すたびに音量が変わります。

一時停止する

►II再生／一時停止ボタンを押す

再生が一時停止します。
もう一度押すと、続きを再生します。

曲の頭出し／前後の曲にスキップする

プラスボタンの左を押す

再生中の曲の先頭に戻ります。
音楽データの先頭から2秒以内の場合は、ひとつ前の音楽データの先頭にスキップします。

プラスボタンの右を押す

次の曲にスキップします。

早戻し／早送りする

プラスボタンの左を押し続ける

早戻しが始まります。

プラスボタンの右を押し続ける

早送りが始まります。

ボタンを離すと、早戻し／早送りされた場所から再生が始まります。

スタート画面を表示する

別の機能を楽しみたいときは、スタート画面を表示させて、別のメニューを選びます。

スタートボタンを押す

音楽を再生したまま、スタート画面が表示されます。
もう一度押すと、スタート画面が消えます。

お知らせ

- 再生中にボタン操作を行ったときに、ノイズが出ることがあります。

繰り返して聴く／順番を変えて聴く

繰り返して聴く

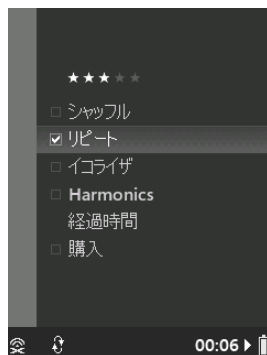
アーティスト、ジャンル、アルバム、再生リストなど、選んだ音楽データを繰り返し聴くことができます。

1 音楽の再生中にOKボタンを何回か押し、再生画面選択画面を表示させる

「再生中画面」（➔42ページ）をご覧ください。

2 ［設定］を選んでOKボタンを押す

3 ［リピート］を選んでOKボタンを押す

チェックボックスにチェックがはいって、再生中の音楽を繰り返して再生します。
アーティストを選んだ場合はアーティストの全曲が、アルバムを選んだ場合はアルバム中の全曲が、繰り返して再生されます。

お知らせ

- ←バックボタンを押すと、再生画面選択画面に戻ります。
- 音楽を再生していないときに設定することもできます。スタート画面から［設定］→［ミュージック］→［リピート］を選んで、設定してください。
- 1曲だけ選んで繰り返すことはできません。1曲だけ繰り返したい場合は、1曲だけクイックリスト（➔51ページ）に追加してクイックリストを再生してください。

順番を変えて聴く

アーティスト、ジャンル、アルバム、再生リストなど、選んだ音楽データをランダムに聴くことができます。

1 音楽の再生中にOKボタンを何回か押し、再生画面選択画面を表示させる

「再生中画面」（➔42ページ）をご覧ください。

2 ［設定］を選んでOKボタンを押す

3 ［シャッフル］を選んでOKボタンを押す

チェックボックスにチェックがはいって、選んだ音楽データがランダムに再生されます。

お知らせ

- ←バックボタンを押すと、再生画面選択画面に戻ります。
- 音楽を再生していないときに設定することもできます。スタート画面から［設定］→［ミュージック］→［シャッフル］を選んで、設定してください。
- アルバム、アーティスト、曲、ジャンルで「すべて再生」を選んだときは、常にシャッフル再生に設定されています。

音質を変える

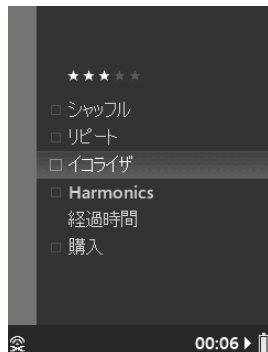
イコライザの変更

イコライザの種類をお好みに合わせて選べます。

1 音楽の再生中にOKボタンを何回か押し、再生画面選択画面を表示させる

「再生中画面」（➔42ページ）をご覧ください。

2 ［設定］を選んでOKボタンを押す

3 ［イコライザ］の行を選ぶ

4 OKボタンを押して、好みの音質を選ぶ

OKボタンを押すたびに、イコライザの設定が次の順番で切り換わります。

設定なし（チェックなし）→アコースティック→クラシック→エレクトロニック→ヒップホップ→ジャズ→ポップ→ロック

お知らせ

- 音楽を再生していないときに設定することもできます。スタート画面から［設定］→［ミュージック］→［イコライザ］を選んで、設定してください。
- 本機能が働くのは、［マイミュージック］の音楽だけです。

Harmonics機能の設定、変更

より良い音質で音楽を再生できます。この設定を行うと、CDから取り込んだ音楽データを、元のCDに近い音質で聴くことができます。

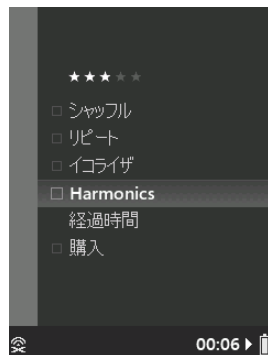
音楽CD（サンプリング周波数44.1kHz）からWMAやMP3に圧縮したときにカットされた16kHz以上の高音域を補完します。

この高音域補完技術（H2C Technology）は、国立大学法人 九州工業大学HIT開発センターと東芝の共同開発です。

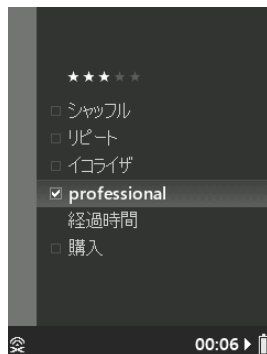
1 音楽の再生中にOKボタンを何回か押し、再生画面選択画面を表示させる

「再生中画面」（➔42ページ）をご覧ください。

2 ［設定］を選んでOKボタンを押す

3 ［Harmonics］の行を選ぶ

4 OKボタンを押して、設定を変える

OKボタンを押すたびに、次の順番で切り換わります。

設定なし（チェックなし）： H2C Technologyが働きません。
［professional］ ： 高音域を補完します。
［dynamic］ ： 高音域を補完し、低音を強調します。

お知らせ

- H2C Technologyによる再生は電池の消耗が大きいため、Harmonicsオフに比べて連続再生時間が短くなります。
- 音楽を再生していないときに設定することもできます。スタート画面から［設定］→［ミュージック］→［Harmonics］を選んで、設定してください。
- 本機能が働くのは、［マイミュージック］の音楽だけです。
- サンプリング周波数が44.1kHz以上の音楽でないと、H2C Technologyの効果は得られません。

再生リストを使って聴く

クイックリストを作成する

クイックリストを作成しておくと、お気に入りの音楽を簡単に再生することができます。

Windows Media Player 11 または10で登録している再生リストをgigabeatに転送することもできます。Windows Media Player 11の場合は、曲と同様に、転送したい再生リストを右クリックし、［“同期リスト”に追加］を選んで転送できます。（➔34ページ）

Windows Media Player 10の場合は、同期を自動に設定して、転送（同期）させたい再生リストを選びます。詳しくは、Windows Media Player 10のヘルプをご覧ください。

1 スタート画面から［マイミュージック］を選んで、OKボタンを押す

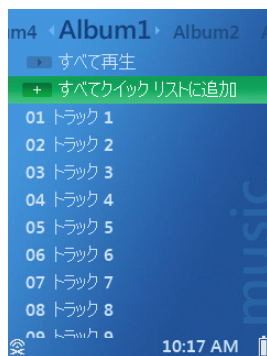
2 プラスボタンの左または右を押して、［曲］、［ジャンル］、［アルバム］、［アーティスト］のいずれかを選ぶ

3 クイックリストに追加したい曲、ジャンル、アルバム、アーティストを選ぶ

4 ［すべてクイックリストに追加］または［クイックリストに追加］を選んで、OKボタンを押す

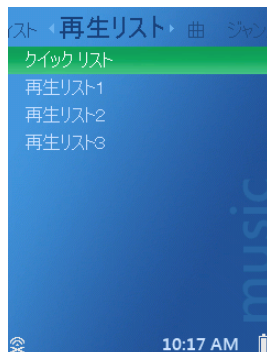
メッセージが表示されて、クイックリストに音楽データが追加されます。

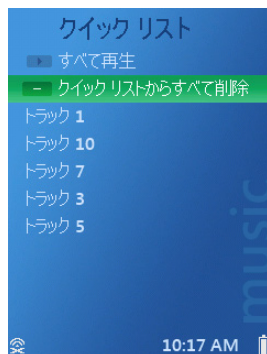
アーティストやアルバムなどを選んで、［すべてクイックリストに追加］を選んだ場合は、その中の曲すべてがクイックリストに追加されます。

作成したクイックリストを再生する方法は、「再生リストの内容を再生する」（➔54ページ）をご覧ください。

クイックリストから削除する

1 スタート画面から［マイミュージック］を選んで、OKボタンを押す

2 プラスボタンの左または右を押して、［再生リスト］を選ぶ

3 ［クイックリスト］を選んでOKボタンを押す

4 ［クイックリストからすべて削除］を選んでOKボタンを押す

確認のメッセージが表示されます。

5 ［はい］を選んでOKボタンを押す

完了のメッセージが数秒間表示されて、クイックリストに登録されている音楽データがクイックリストからすべて削除されます。

お知らせ

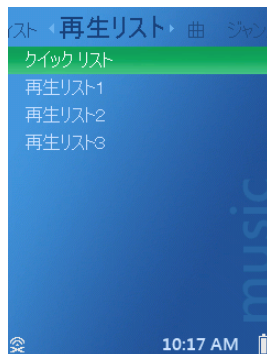
- クイックリストの中の、特定の曲を選んで削除することはできません。

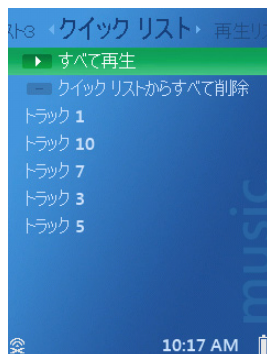
再生リストの内容を再生する

1 スタート画面から［マイミュージック］を選んで、OKボタンを押す

2 プラスボタンの左または右を押して、［再生リスト］を選ぶ

3 ［クイックリスト］またはWindows Media Playerで転送した再生リストを選んで、OKボタンを押す

登録されている音楽が表示されます。

4 ［すべて再生］を選んでOKボタンを押す

クイックリストまたは転送した再生リストに登録されている音楽の再生が始まります。

音楽データを管理する

音楽データを評価する

再生中の音楽を評価して、Windows Media Player 11または10の評価と同期させることができます。

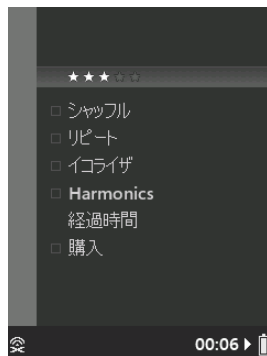
星の数0〜5個の間（5個が最高評価）で、評価します。

Windows Media Player では、音楽などを評価順に表示できます。また、Windows Media Playerの自動再生リストを作成する際に検索条件として評価を使用できます。

1 音楽の再生中にOKボタンを何回か押し、再生画面選択画面を表示させる

「再生中画面」（➔42ページ）をご覧ください。

2 ［設定］を選んでOKボタンを押す

3 星が並んだ行を選ぶ

4 OKボタンを押して、星の数を変える

OKボタンを押すたびに星の数が変わります。

Windows Media Player 11または10と音楽データを同期させると、gigabeat で設定した評価がWindows Media Player 11 または10での評価に反映されます。

また、Windows Media Player 11または10で評価を変更すると、同期を行ったときにgigabeatでの評価も変更されます。

音楽データを削除する

gigabeat に保存している音楽データを削除したい場合には、Windows Media Player 11 または10から削除します。

ここではWindows Media Player 11を使用した場合を説明しています。Windows Media Player 10を使用する場合は、Windows Media Player 10のヘルプをご覧ください。

1 パソコンとgigabeat を、USBケーブルで接続する

2 Windows Media Player 11を起動する

3 ［同期］タブをクリックし、［カテゴリの選択］ボタンをクリックして［音楽］を選ぶ

4 左のツリーから、［gigabeat_T Series］のライブラリをクリックする

gigabeat内のライブラリが表示されます。

5 削除する音楽データを右クリックして表示されるメニューから、［削除］を選ぶ

削除の確認画面が表示されます。

パソコン側で、削除するときのメッセージを表示しないように設定した場合は、削除の確認画面は表示されません。

6 ［はい］を選ぶ

gigabeat から選んだ音楽データが削除されます。

7 削除されたことを確認して、USBケーブルをはずす

お知らせ

- 同期を自動に設定していた場合は、同期済みのデータをパソコンから削除すると、gigabeatと接続したときに、同じデータがgigabeatからも削除されます。

フォトデータを準備する

フォトを転送する

Windows Media Player 11または10を使って、パソコン内に入れたフォトデータをgigabeat に転送できます。
ここではWindows Media Player 11を使用した場合を説明しています。Windows Media Player 10を使用する場合は、Windows Media Player 10のヘルプをご覧ください。

お知らせ

- gigabeat で表示できるのは、JPEG形式の画像ファイルだけです。

1 パソコンとgigabeat を、USBケーブルで接続する

gigabeatが接続されたときに実行する動作を選択する画面が表示されます。

2 ［デジタルメディアファイルをこのデバイスに同期させます Windows Media Player使用］を選択して［OK］をクリックする

今後gigabeatを接続したときに本画面を表示せず、自動的にWindows Media Player 11を起動させたい場合は、［常に選択した動作を実行する］のチェックボックスにチェックを入れます。
Windows Media Player 11が起動し、デバイスの設定の画面が表示されます。
この画面が表示されない場合は、Windows Media Player 11を起動してください。

3 以下に従って、［完了］または［キャンセル］をクリックする

（A：ライブラリ全体がgigabeatに収まる場合）
［キャンセル］：手動で gigabeat にデータを転送します。
手順4に進んでください。

Aの場合の画面

［完了］：　転送（同期）が始まります。次回からもgigabeatとパソコンを接続するたびに自動的に同期が行われ、gigabeatにデータが転送されます。

（B：ライブラリ全体がgigabeatに収まらない場合）

Bの場合の画面

［完了］または［キャンセル］をクリックしてください。

手動でgigabeatにデータを転送します。

手順4に進んで下さい。

すでに設定した場合は、本画面は表示されません。［同期］タブの下の▼をクリックして、［gigabeat_T Series］の［同期の設定］ボタンをクリックすると自動の同期の設定ができます。（➔36ページ）

4 Windows Media Player11の［同期］タブをクリックし、［カテゴリの選択］ボタンをクリックして［画像］を選ぶ

5 転送（同期）したいデータを右クリックして表示されるショートカットメニューから［“同期リスト”に追加］を選ぶ

画面右側の同期リストに、データが追加されます。

右側の同期リストのエリアにドラッグ＆ドロップしても、同期リストに追加できます。

6 右下の［同期の開始］ボタンをクリックする

同期が開始されます。

同期中は［同期の開始］ボタンが［同期の中止］ボタンに変わり、同期が終わると［同期の開始］ボタンに戻ります。

詳しくは、Windows Media Player 11のヘルプをご覧ください。

お知らせ

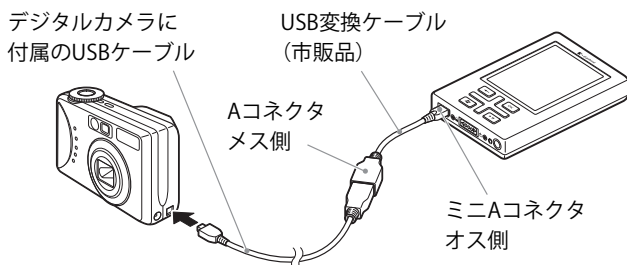
- gigabeatへのデータ転送は、必ずWindows Media Player 11または10をご使用ください。それ以外の方法は使用しないでください。

デジタルカメラのフォトデータをgigabeatに転送する

USBマスストレージやPTP対応のデジタルカメラなどとgigabeat を直接接続して、デジタルカメラなどに保存されているフォトデータをgigabeat に転送することができます。

上記の条件はすべての機器での動作を保証するものではありません。

デジタルカメラなどとの接続には、USB変換ケーブルが必要です。A コネクタメス－ミニ A コネクタオスのUSB変換ケーブルをお買い求めください。

1 USB変換ケーブル（市販品）を使って、デジタルカメラとgigabeat を接続する

2 gigabeatの電源を入れ、デジタルカメラの電源を入れる

デジタルカメラによっては自動的に電源がはいります。

「gigabeatに転送しますか」の確認メッセージが表示されます。

3 ［はい］を選んでOKボタンを押す

デジタルカメラに保存されているフォトデータ、動画データなどデジタルカメラから転送可能なデータが転送されます。

4 転送が終わったら、カメラの電源を切り、USBケーブルを抜く

お願い

- デジタルカメラと接続する前に、gigabeatを十分に充電してください。電池残量が少ないとき、デジタルカメラからの転送を実行すると、電池の消耗によって、gigabeatに記録されているデータが破壊されることがあります。
- 転送中にデジタルカメラの電源が切れないように、デジタルカメラの電池の残量が十分にあることを確認してから接続してください。
- gigabeat が処理中の画面のときには、USB ケーブルを抜いたり差したりしないでください。（➔26ページ）

お知らせ

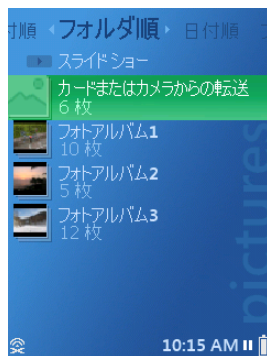
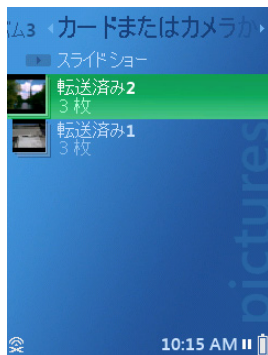
- デジタルカメラの種類によっては、パソコンなどと接続するモードに切り換えておいてください。
- gigabeat の空き領域が不足している場合は、空き領域に転送できるだけのフォトデータが転送されます。
- gigabeatに転送しても、デジタルカメラ内のデータは、残ります。
- デジタルカメラとの接続にUSBハブは使用しないでください。
- gigabeatのUSBバス電源供給機能の制限によるため、デジタルカメラの機種によっては接続できず、またgigabeatのUSB機能が一時的に使えなくなる場合があります。この場合は、デジタルカメラを取りはずしたあと、gigabeatの電源を切り、再度電源を入れてください。
- 手順1と2の順番を逆に行っても接続できます。
- gigabeatからは、デジタルカメラの一つのフォルダしか認識できません。デジタルカメラに2個以上のストレージがある場合、どちらかしか認識しません。
- デジタルカメラ側に「カードまたはカメラからの転送」という名前のフォルダを作成しないでください。接続しても、エラーメッセージが表示され、データが転送されません。

削除する

デジタルカメラから直接転送したフォトデータは、gigabeat をパソコンと接続せずに削除することができます。

1 スタート画面から［マイピクチャ］を選んで、OKボタンを押す

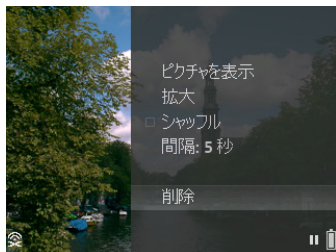
2 プラスボタンの左または右を押して、［フォルダ順］を選ぶ

3 ［カードまたはカメラからの転送］を選んでOKボタンを押す

4 削除するフォトデータのフォルダを選んで、OKボタンを押す

5 削除するフォトデータを選んで、OKボタンを押す

選んだフォトが表示されます。
［すべて削除］を選ぶと、そのフォルダ内のすべてのフォトデータを削除できます。

6 OKボタンを押して、フォトの設定画面を表示させる

7 ［削除］を選んでOKボタンを押す

確認のメッセージが表示されます。

8 ［はい］を選んでOKボタンを押す

削除完了のメッセージが表示されます。

9 OKボタンを押す

お知らせ

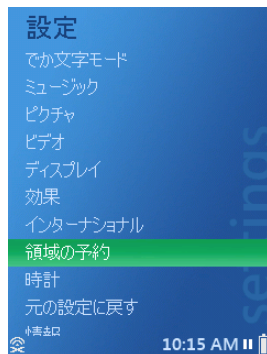
- パソコンと接続してフォトデータを削除することもできます。
  「フォトを削除する」（➔73ページ）をご覧ください。

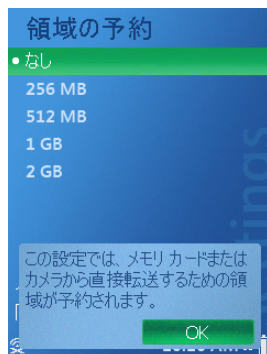
空き容量を確保する

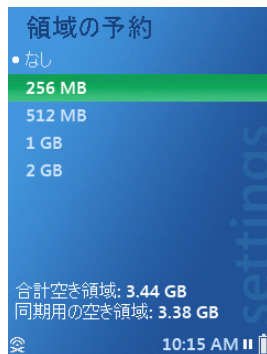
デジタルカメラから直接フォトデータを転送して保存するために、gigabeat に特定の空き領域を予約しておくことができます。

1 スタート画面から［設定］を選んで、OKボタンを押す

2 ［領域の予約］を選んでOKボタンを押す

確認のメッセージが表示されます。

3 OKボタンを押す

メッセージが消えて、合計空き領域と同期用の空き領域が表示されます。

4 空き領域として予約したい容量を選んで、OKボタンを押す

［なし］、［256MB］、［512MB］、［1GB］、［2GB］から選べます。

お知らせ

- ここで予約した領域はデジタルカメラから直接入力するフォトデータ専用であり、パソコンから転送したどのようなデータもこの領域には保存されません。

フォトを見る

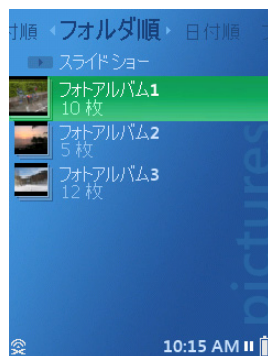
フォルダ順に見る

gigabeat に転送したフォトデータを、保存されているフォルダごとに見ることができます。

1 **スタート画面から［マイピクチャ］を選んで、OKボタンを押す**

2 **プラスボタンの左または右を押して、［フォルダ順］を選ぶ**

3 **表示させるフォルダを選んで、OKボタンを押す**

選んだフォルダにはいっているフォトが、縮小表示されます。

4 **表示させるフォトを選んで、OKボタンを押す**

選んだフォトが全画面に表示されます。

お知らせ

- フォトを選んで►❚❚再生／一時停止ボタンを押しても、選んだフォトを全画面に表示できます。

日付順に見る

gigabeat に転送したフォトデータを、撮影された月および年のグループごとに見ることができます。

1 スタート画面から［マイピクチャ］を選んで、OKボタンを押す

2 プラスボタンの左または右を押して、［日付順］を選ぶ

3 表示させる月および年のグループを選んで、OKボタンを押す

選んだグループにはいっているフォトが、縮小表示されます。

4 表示させるフォトを選んで、OKボタンを押す

選んだフォトが全画面に表示されます。

お知らせ

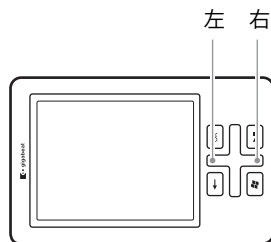
- 撮影した日付が不明なフォトデータは、[不明な日時]にグループ分けされます。

フォトを切り換える

プラスボタンの左または右を押す

左：ひとつ前のフォト

右：次のフォト

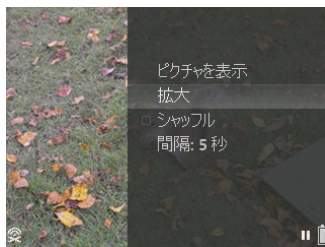
画面表示が横向きの場合は、上／下だったボタンが左／右になります。

横向き

縦向き

ズーム表示する

1 **フォトの表示中にOKボタンを押して、フォトの設定画面を表示させる**

2 **［拡大］を選んでOKボタンを押す**

もう一度OKボタンを押すと、元のサイズに戻ります。

お知らせ

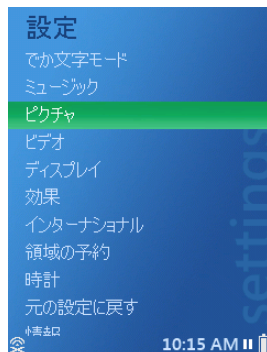
- 320 × 240 （ピクセル）および、それよりも小さいフォトデータは、ズーム表示できません。
- フォトのズーム表示中に、プラスボタンの上／下／左／右いずれかを押すと、ズーム表示している場所を、上下左右に動かすことができます。

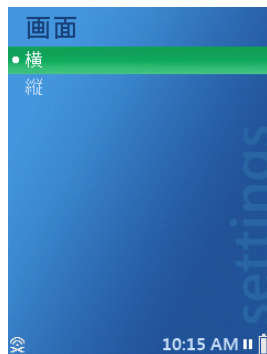
向きを変える

1 スタートボタンを押す

スタート画面が表示されます。

2 ［設定］を選んでOKボタンを押す

3 ［ピクチャ］を選んでOKボタンを押す

4 ［画面］を選んでOKボタンを押す

5 ［横］または［縦］を選んで、OKボタンを押す

6 ←バックボタンを3回押して、フォトの表示画面に戻る

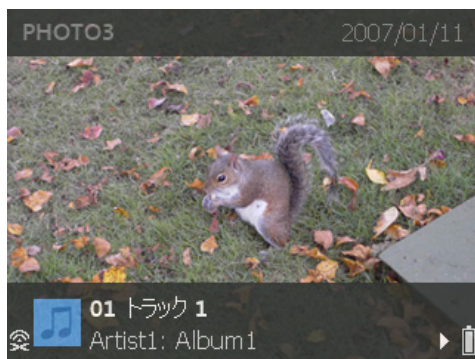
設定した向きでフォトが表示されます。

フォト情報を表示する

1 フォトの表示中にOKボタンを押す

フォトの設定画面が表示されます。

2 ［ピクチャを表示］を選んでOKボタンを押す

フォトの情報画面が表示されます。
もう一度OKボタン押すと、通常のフォトの表示画面に戻ります。

表示中のフォトの情報（名前、日付）が、再生／一時停止アイコンやバッテリーアイコンと一緒に表示されます。
音楽を再生している場合は、再生している曲の情報も表示されます。

音楽情報を表示する

再生している音楽の情報を確認することができます。

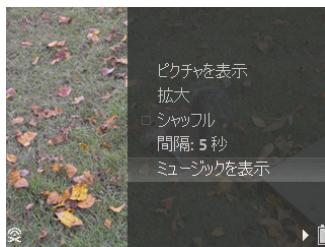
1 フォトの表示中にOKボタンを押す

フォトの設定画面が表示されます。

2 ［ミュージックを表示］を選んでOKボタンを押す

音楽の再生中画面が表示されます。

音楽を再生していない場合は、このメニューは表示されません。

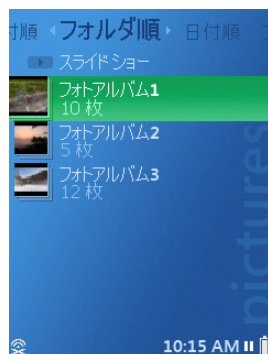
←バックボタンを押すと、フォトを見る前の縮小表示に戻ります。

スライドショーを見る

スライドショーを再生する

gigabeat に転送したフォトデータを、スライドショーで見ることができます。
スライドショーは、音楽の再生中にも見ることができます。

1 **スタート画面から［マイピクチャ］を選んで、OKボタンを押す**

2 **プラスボタンの左または右を押して、［フォルダ順］または［日付順］を選ぶ**

3 **スライドショーを再生したいフォルダ、または日付ごとのグループを選んでOKボタンを押す**

4 **［スライドショー］を選んでOKボタンを押す**

選んだグループのすべてのフォトが、スライドショーで再生されます。

お知らせ

- グループを選んで►❚❚再生／一時停止ボタンを押しても、選んだグループ内のフォトをスライドショーで再生できます。
- ［フォルダ順］や［日付順］のすぐ下の［スライドショー］を選ぶと、すべてのフォトデータのスライドショーができます。

停止する

►❚❚再生／一時停止ボタンを押す

もう一度押すと、スライドショーが再開します。

音楽の再生中に押すと、スライドショーと音楽の両方が停止します。

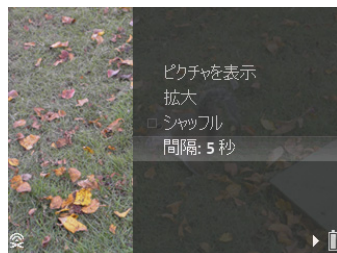
スライドショーの再生中にも、プラスボタンの左または右を押してフォトを切り換えることができます。

「フォトを切り換える」（➔66ページ）をご覧ください。

スライドショーの表示間隔を変更する

スライドショーで、1枚のフォトを何秒間表示させるかを設定します。

1 スライドショーの再生中にOKボタンを押して、フォトの設定画面を表示させる

2 ［間隔］の行を選ぶ

3 OKボタンを押して、表示時間を選ぶ

OKボタンを押すたびに、［3秒］［5秒］［7秒］［10秒］［15秒］［30秒］の順番に切り換わります。

4 ［ピクチャを表示］を選んでOKボタンを2回押す

スライドショーの再生中画面に戻ります。

お知らせ

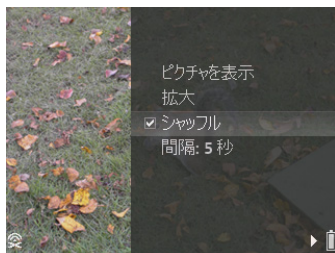
- フォトを表示していないときに、表示間隔を設定することもできます。スタート画面から[設定]→[ピクチャ]→[スライド間隔]を選んで、設定してください。

スライドショーをランダムに再生する

スライドショーで、順番を変えてフォトを表示することができます。

1 スライドショーの再生中にOKボタンを押して、フォトの設定画面を表示させる

2 [シャッフル] を選んでOKボタンを押す

チェックボックスにチェックがはいります。

3 [ピクチャを表示] を選んでOKボタンを2回押す

元の画面に戻ります。

お知らせ

- フォトを表示していないときに、シャッフル再生に設定することもできます。スタート画面から [設定] → [ピクチャ] → [シャッフル] を選んで、設定してください。

フォトを削除する

gigabeatに保存しているフォトデータを削除したい場合には、Windows Media Player 11または10から削除します。
ここではWindows Media Player 11を使用した場合を説明しています。Windows Media Player 10を使用する場合は、Windows Media Player 10のヘルプをご覧ください。

1 パソコンとgigabeat を、USBケーブルで接続する

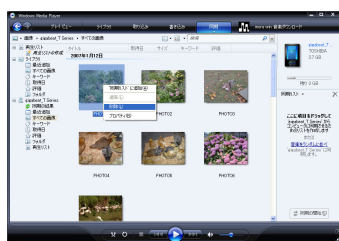
2 Windows Media Player 11を起動する

3 ［同期］タブをクリックし、［カテゴリの選択］ボタンをクリックして［画像］を選ぶ

4 左のツリーから、［gigabeat_T Series］のライブラリをクリックする

gigabeat内のライブラリが表示されます。

5 削除するフォトデータを右クリックして表示されるメニューから、［削除］を選ぶ

削除の確認画面が表示されます。
パソコン側で、削除するときのメッセージを表示しないように設定した場合は、削除の確認画面は表示されません。

6 ［はい］を選ぶ

gigabeat から選んだフォトデータが削除されます。

7 削除されたことを確認して、USBケーブルをはずす

ビデオデータを準備する

ビデオデータを転送する

Windows Media Player 11 または10を使って、パソコン内に入れたビデオデータをgigabeat に転送できます。
2GB以下のWMVファイルを準備してください。
ここではWindows Media Player 11を使用した場合を説明しています。Windows Media Player 10を使用する場合は、Windows Media Player 10のヘルプをご覧ください。

1 パソコンとgigabeat を、USBケーブルで接続する

gigabeatが接続されたときに実行する動作を選択する画面が表示されます。

2 ［デジタルメディアファイルをこのデバイスに同期させます Windows Media Player使用］を選択して［OK］をクリックする

今後gigabeatを接続したときに本画面を表示せず、自動的にWindows Media Player 11を起動させたい場合は、［常に選択した動作を実行する］のチェックボックスにチェックを入れます。
Windows Media Player 11が起動し、デバイスの設定の画面が表示されます。
この画面が表示されない場合は、Windows Media Player 11を起動してください。

3 以下に従って、［完了］または［キャンセル］をクリックする

（A：ライブラリ全体がgigabeatに収まる場合）
［キャンセル］：手動で gigabeat にデータを転送します。
手順4に進んでください。
［完了］：転送（同期）が始まります。次回からもgigabeatとパソコンを接続するたびに自動的に同期が行われ、gigabeatにデータが転送されます。

Aの場合の画面

（B：ライブラリ全体がgigabeatに収まらない場合）
［完了］または［キャンセル］をクリックしてください。
手動でgigabeatにデータを転送します。
手順**4**に進んで下さい。
すでに設定した場合は、本画面は表示されません。［同期］タブの下の▼をクリックして、［gigabeat_T Series］の［同期の設定］ボタンをクリックすると自動の同期の設定ができます。（➔36ページ）

Bの場合の画面

4 Windows Media Player 11の［同期］タブをクリックし、［カテゴリの選択］ボタンをクリックして［ビデオ］を選ぶ

Windows Media Player 11 のツリー表示から、データを選びます。

5 転送（同期）したいデータを右クリックして表示されるショートカットメニューから［"同期リスト" に追加］を選ぶ

画面右側の同期リストに、データが追加されます。
右側の同期リストのエリアにドラッグ＆ドロップしても、同期リストに追加できます。

6 右下の［同期の開始］ボタンをクリックする

同期が開始されます。
同期中は［同期の開始］ボタンが［同期の中止］ボタンに変わり、同期が終わると［同期の開始］ボタンに戻ります。
詳しくは、Windows Media Player 11のヘルプをご覧ください。

お知らせ

- Windows Media DRM10で著作権保護されたWMVデータは下記のエラーを表示して再生できない場合があります。
  1)「この項目に対するライセンスの有効期限が切れています。」
  2)「この項目のライセンスに問題があります。」
  対処については、「エラーメッセージ（本体）」（➔132ページ）をご覧ください。
- WMVファイルのフォーマットによっては、転送時にgigabeatに適した形式に変換処理が行われる場合があります。
- ファイルサイズが2GBを超える場合や収録時間が9時間6分を超える場合には、gigabeatでは正常に再生できません。
- gigabeatへのデータ転送は、必ずWindows Media Player 11または10をご使用ください。それ以外の方法は使用しないでください。

ビデオを見る

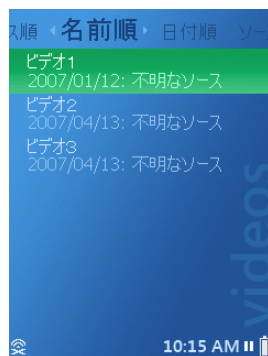
ビデオデータを選んで再生する

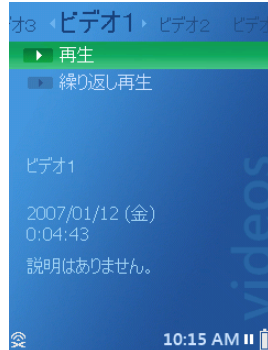
gigabeat に転送したビデオデータの情報によって、「日付順」、「名前順」、「ソース順」のそれぞれから目的のビデオデータを選ぶことができます。

1 **スタート画面から［マイビデオ］を選んで、OKボタンを押す**

2 **プラスボタンの左または右を押して、［日付順］、［ソース順］、または［名前順］を選ぶ**

3 **再生したいビデオを選んで、OKボタンを押す**

選んだビデオデータのタイトル画面が表示されます。
ビデオデータに局名情報が付加されている場合は、ソース情報として局名情報が表示されます。局名情報が付加されていない場合は「不明なソース」と表示されます。

4 **［再生］を選んでOKボタンを押す**

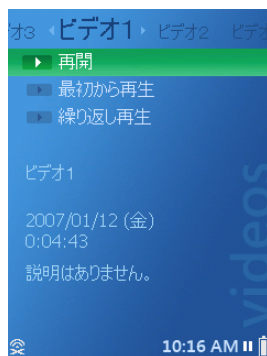
再生が始まります。

お知らせ

- 再生したいビデオを選んで►❙❙再生／一時停止ボタンを押しても再生できます。
- 再生中に一時停止などの操作をしたときには、再生画面の下部に経過時間バーが数秒間表示されます。

再開する／最初から再生する

再生の途中でビデオを停止した場合、停止した同じ場面から再生するか、もう一度始めから再生するかを選べます。

1 再生していたビデオデータのタイトル画面に戻る

2 ［再開］または［最初から再生］を選んで、OKボタンまたは►❙❙再生／一時停止ボタンを押す

お知らせ

- ［繰り返し再生］を選んでOKボタンまたは、►❙❙再生／一時停止ボタンを押すと、繰り返し再生ができます。

再生中にできること

音量を調整する

再生中画面表示中に、プラスボタンの上または下を押す

押すと、音量表示が約1秒間表示されます。
押すたびに音量が変わります。

一時停止する

►II再生／一時停止ボタンを押す

または

OKボタンを押す

再生が一時停止します。
もう一度押すと、続きを再生します。

早戻し／早送りする

プラスボタンの左を押す

約10秒前に戻ります。
押し続けると、早戻しが始まります。

プラスボタンの右を押す

約30秒後に進みます。
押し続けると、早送りが始まります。

ボタンを離すと、早戻し／早送りされた場面から再生が始まります。

スタート画面を表示する

別の機能を楽しみたいときは、スタート画面を表示させて、別のメニューを選びます。

スタートボタンを押す

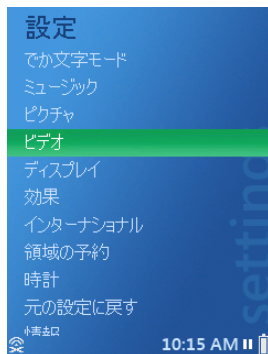
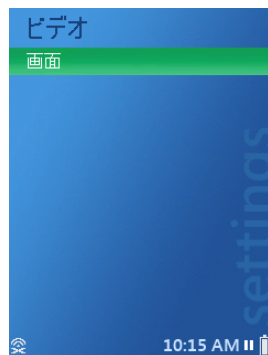
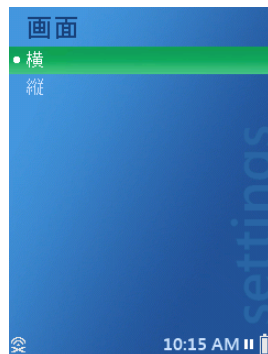
ビデオが一時停止して、スタート画面が表示されます。
もう一度押すと、スタート画面が消えて続きを再生します。

向きを変える

1 スタートボタンを押す

ビデオが一時停止して、スタート画面が表示されます。

2 ［設定］を選んでOKボタンを押す

3 ［ビデオ］を選んでOKボタンを押す

4 ［画面］を選んでOKボタンを押す

5 ［横］または［縦］を選んで、OKボタンを押す

6 ←バックボタンを3回押して、ビデオの再生中画面に戻る

設定した向きでビデオの再生が始まります。

ビデオデータを削除する

「音楽データを削除する」（➔56ページ）と同じように、gigabeatからビデオデータを削除できます。

1 パソコンとgigabeat を、USBケーブルで接続する

2 Windows Media Player 11を起動する

3 ［同期］タブをクリックし、［カテゴリの選択］ボタンをクリックして［ビデオ］を選ぶ

4 左のツリーから、［gigabeat_T Series］のライブラリをクリックする

gigabeat内のライブラリが表示されます。

5 削除するビデオデータを右クリックして表示されるメニューから、［削除］を選ぶ

削除の確認画面が表示されます。

パソコン側で、削除するときのメッセージを表示しないように設定した場合は、削除の確認画面は表示されません。

6 ［はい］を選ぶ

gigabeat から選んだビデオデータが削除されます。

7 削除されたことを確認して、USBケーブルをはずす

テレビ番組録画データを準備する

録画したテレビ番組を転送する

Windows XP Media Center Edition 2005 以降または Windows Media Center（*1）を使って録画されたテレビ番組を、Windows Media Player 11または10を使ってgigabeat に転送（同期）できます。

転送手順は「ビデオデータを転送する」（➔74ページ）と、同じです。

ただし、手順4で［録画されたテレビ］を選んでください。

4 Windows Media Player 11の［同期］タブをクリックし、［カテゴリの選択］ボタンをクリックして［録画されたテレビ］を選ぶ

お知らせ

- Windows Media Player 10を使用する場合には、Windows Media Player 10のヘルプをご覧ください。
- Windows XP Media Center Edition 2005 以降またはWindows Media Center（*1）を使っても、録画されたテレビ番組をgigabeatに転送（同期）できます。転送方法はそれぞれのヘルプをご覧ください。
- ファイルサイズが2GBを超える場合や収録時間が9時間6分を超える場合には、gigabeatでは正常に再生できません。

（*1）：Windows Media Centerは、Windows Vista Home Premiumまたは Windows Vista Ultimate に搭載されています。

録画したテレビ番組を見る

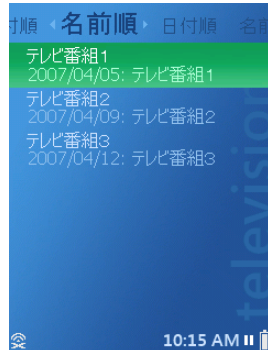
テレビ番組を選んで再生する

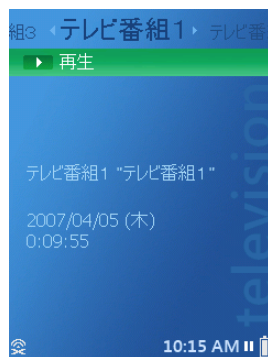
gigabeat に転送したテレビ番組の情報によって、「日付順」、「名前順」のそれぞれから目的のテレビ番組を選ぶことができます。

1 スタート画面から［マイテレビ］を選んで、OKボタンを押す

2 プラスボタンの左または右を押して、［日付順］または［名前順］を選ぶ

3 再生したいテレビ番組を選んで、OKボタンを押す

選んだテレビ番組のタイトル画面が表示されます。

4 ［再生］を選んでOKボタンを押す

再生が始まります。

お知らせ

- ［マイテレビ］に登録されているのは、Windows XP Media Center Edition 2005以降、またはWindows Media Centerを使って録画されたテレビ番組データだけです。それ以外の動画は、［マイビデオ］に登録されています。
- 途中で再生を停止したデータを再生する場合は、手順4で［再開］または［最初から再生］を選んで再生します。
- 再生中に一時停止などの操作をしたときは、再生画面の下部に経過時間バーが数秒間表示されます。
- 「名前順」の場合、シリーズの番組はシリーズ名が表示されます。OK ボタンを押すとそのシリーズ内の番組一覧を表示できます。

再生中にできること

ビデオの再生中と同じです。
「ビデオを見る」の「再生中にできること」（➔79ページ）をご覧ください。

無線LAN機能について

本製品は、IEEE802.11b、IEEE802.11gに準拠した無線LAN機能を搭載しています。
gigabeatをご使用の無線LANのアクセスポイントなどに接続してインターネットに接続し、ポッドキャストをダウンロードできます。
ポッドキャストとは、RSS（Really Simple Syndication）の技術を利用した音声配信のサービスです。好きなポッドキャストのサイトに接続し、コンテンツ（ニュース、ラジオ番組など）をダウンロードできます。
WMVのビデオファイルをダウンロードすることもできます。
GyaOの動画も視聴できます。（キャンペーン期間のみ）

●接続仕様

- 準拠規格：IEEE802.11b/g
- 暗号化方式：WEP(128/64bit)、TKIP、AES
- アクセス方式：インフラストラクチャー

●ご使用になれる国／地域

- 本製品は、日本の無線規格を取得しております。日本以外では使用できません。

無線LAN製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意

無線LANでは、LANケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコンなどと無線LANアクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続が可能であるという利点があります。
その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁等）を越えてあらゆる場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

●通信内容を盗み見られる
悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、

- IDやパスワード又はクレジットカード番号等の個人情報
- メールの内容

などの通信内容を盗み見られる可能性があります。

●不正に侵入される
悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、

- 個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）
- 特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）
- 傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）
- コンピュータウィルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）

などの行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線LANカードや無線LANアクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線LAN製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。
セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を十分理解したうえで、お客様自身の判断と責任でセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお勧めします。

セキュリティ機能

セキュリティ機能を使用しないと、無線LAN経由で部外者による不正アクセスが容易に行えるため、不正侵入や盗聴、データの消失、破壊などにつながる危険性があります。
不正アクセスを防ぐために、ネットワーク名（SSID）の設定や、暗号化機能（WEP、WPA）を設定されることを強くおすすめします。
また、お使いの無線LANアクセスポイントで、登録したMACアドレスのみ接続可能にする設定などの対策も有効です。

無線LANを使用するにあたって

無線LANの無線アンテナは、できるかぎり障害物が少なく見通しのきく場所で最も良好に動作します。無線通信の範囲を最大限有効にするには、本や分厚い紙の束などの障害物でgigabeatを覆わないようにしてください。
また、gigabeatとの間を金属板で遮へいしたり、無線アンテナの周囲を金属性のケースなどで覆わないようにしてください。

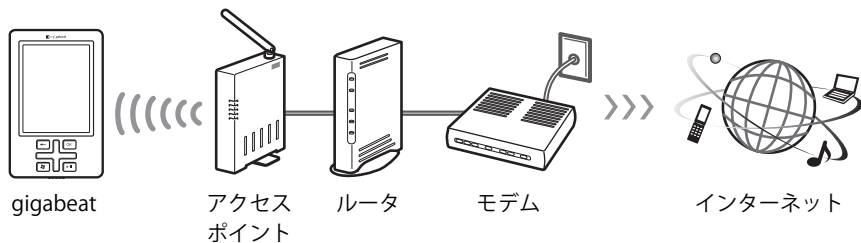
無線LANの操作にあたって

Bluetoothと無線LANは同じ無線周波数帯を使用するため、同時に使用すると電波が干渉し合い、通信速度の低下やネットワークが切断される場合があります。接続に支障がある場合は、今お使いのBluetooth、無線LANのいずれかの使用を中止してください。

無線LANについてのお知らせは、「無線LANについて」（➔145ページ）にも記載していますので、ご覧ください。

無線LANの接続を設定する

ご使用のアクセスポイントまたは無線LANルータ（ルータ機能付きアクセスポイント）などと接続するために設定します。
本書では、以降「アクセスポイント」を例に説明します。

●接続例

公衆無線LANサービスの「BBモバイルポイント」、「ホットスポット」、「Mzone」に接続する場合は、それぞれ「公衆無線LANサービスへの接続を登録する」（➔95ページ）をご覧ください。

●準備

- アクセスポイントは、ネットワークが接続できる状態に設定しておいてください。
- アクセスポイントの設定は、ご使用のアクセスポイントに付属の取扱説明書をご覧ください。

⚠警告

航空機内では、必ずgigabeatの電源を切ること
gigabeatの電源を入れると、gigabeatの電波により、計器に影響を与える場合があります。航空機内で無線通信機器を使用することは航空法で禁止されています。

無線LAN電源をオンに設定する

無線LANを使用する場合は、無線LANの電源をオンに設定します。

1 スタート画面から［無線LAN設定］を選んで、OKボタンを押す

無線LAN設定のメニュー画面が表示されます。

2 ［無線LAN電源設定］を選んでOKボタンを押す

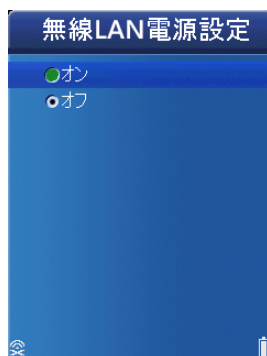
無線LAN電源設定の画面が表示されます。

3 ［オン］を選んでOKボタンを押す

無線LANの電源が、常にオンに設定されます。

無線LANの電源をオンに設定すると、無線LANオフのアイコンから無線LANオンのアイコンに変わります。

無線LANオフのアイコン

無線LANオンのアイコン

お願い

- 無線LANを使用しない場合は、［オフ］に戻してください。電源をいったん切って入れても、［オン］は［オフ］に戻りません。

ネットワーク（アクセスポイント）を登録する

ご使用のアクセスポイントなどと接続するために設定します。

AOSS対応のAirStation（株式会社バッファロー製のアクセスポイント）をお使いの場合は、AOSSを使って簡単に接続できます。「AOSSを使って接続する」（➔94ページ）をご覧ください。

1 スタート画面から［無線LAN設定］を選んで、OKボタンを押す

無線LAN設定のメニュー画面が表示されます。

2 ［ネットワーク登録／編集］を選んでOKボタンを押す

ネットワーク一覧画面が表示されます。

3 ［自動検索］を選んでOKボタンを押す

検索が開始され、見つかったネットワーク（アクセスポイント）の一覧が表示されます。

ネットワーク名の横に、検索した時点の電波強度のアイコンが表示されます。

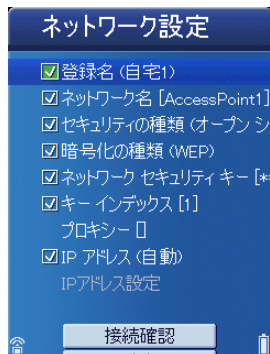
強い ←→ 弱い

縦線の本数が多いほど、電波状態が良好です。

4 接続するネットワーク名（SSID）を選んで、OKボタンを押す

ネットワークの設定画面が表示されます。

5 接続の設定をする

各項目で、OKボタンを押してください。押すたびに設定が切り換わります。
［ネットワーク名］、［セキュリティの種類］、［暗号化の種類］、［キーインデックス］にチェックがはいっている場合、そこは変更する必要はありません。自動的にアクセスポイントと同じ設定に設定されています。

登録名	この接続設定の登録名を選びます。 自宅1～2、会社1～2、学校1～2、外出先1～4から選択できます。
ネットワーク名	アクセスポイントと同じネットワーク名（SSID）を入力します。
セキュリティの種類	認証方式を選びます。アクセスポイントの設定に合わせてください。 ［オープンシステム］：オープンシステムの認証方式 ［共有キー］：共有キーの認証方式 ［WPA-パーソナル］：WPA-Personalの認証方式 ［WPA2-パーソナル］：WPA2-Personalの認証方式
暗号化の種類	暗号化方式を選びます。アクセスポイントの設定に合わせてください。 ［なし］：暗号化しない ［WEP］：WEPの暗号化方式 ［TKIP］：TKIPの暗号化方式 ［AES］：AESの暗号化方式
ネットワークセキュリティキー	暗号化キーを入力します。アクセスポイントと同じキーを入力してください。 入力のしかたは「キーボード画面での入力のしかた」（→93ページ）をご覧ください。
キーインデックス	WEPの場合に、［1］／［2］／［3］／［4］のいずれかを選びます。アクセスポイントの設定に合わせてください。

プロキシー	プロキシーサーバーを使用する場合は、プロキシーのアドレスを入力します。入力のしかたは「キーボード画面での入力のしかた」（➔93ページ）をご覧ください。 256文字以上は入力できません。
IPアドレス	［自動］：アクセスポイントが DHCP に対応している場合に選びます。設定すると、自動的にIPアドレスが割り当てられます。 ［手動］：アクセスポイントが DHCP に対応していない場合に選びます。
IPアドレス設定	［IPアドレス］で［手動］を選んだとき、［IPアドレス］、［サブネットマスク］、［デフォルトゲートウェイ］、［DNS設定］を設定してください。

6 接続の確認をする

1 画面の［接続確認］ボタンを選び、OKボタンを押す

接続確認を実行し、接続結果の確認画面が表示されます。
表示された電波状態のアイコンで、電波の強さも確認できます。
接続できることが確認できた場合は、「接続確認に成功しました。」と表示されます。
エラーメッセージが表示された場合は、「エラーメッセージ（本体）」の「無線LAN操作時」（➔133ページ）をご覧ください。

2 OKボタンを押す

確認画面が消えます。

7 画面の一番下にある［確定］ボタンを選び、OKボタンを押す

設定したネットワークがgigabeatに登録されます。

お知らせ

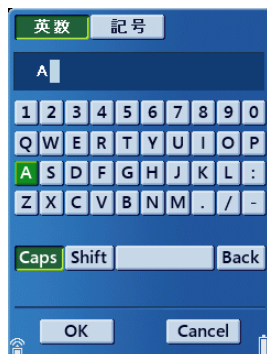
- ネットワーク（SSID）が検索できない場合などは、手動で接続したいネットワークの登録もできます。手順3で、［手動設定］を選び、表示された接続設定画面で、接続したいネットワーク名とその暗号化の設定などを入力してください。
- ネットワークは、AOSSを使って登録したネットワークと合わせて5つまで登録できます。
- 本機のMACアドレスは、以下の手順で表示できます。
  スタート画面から［無線LAN設定］を選んで、OKボタンを押し、［MACアドレス］を選んで、OKボタンを押します。

● 大文字／小文字も区別されますので、アクセスポイントの設定と大文字／小文字も合わせてください。

キーボード画面での入力のしかた

文字や数字の入力が必要な設定では、キーボード画面が表示されます。

1 プラスボタンの上／下／左／右を押して、画面上のキーを選び、OKボタンを押す

文字表示欄に文字が入力されます。

2 手順1と同様に、次の文字を入力する

3 最後に、プラスボタンの上／下／左／右を押して、画面の［OK］を選び、OKボタンを押す

お知らせ

● プラスボタンの上／下／左／右を押して、文字表示欄の削除／挿入したい位置にカーソルを移動できます。
● 文字を消す場合は、［Back］を選んでOKボタンを押します。
● ［記号］を選んでOKボタンを押すと、記号の入力画面に変わります。
● ［Caps］が押されている状態では、大文字が入力でき、［Caps］が押されていない状態では、小文字が入力できます。
● ［Shift］を選んでOKボタンを押すと、１文字だけ、大文字または小文字に変えて入力できます。

AOSSを使って接続する

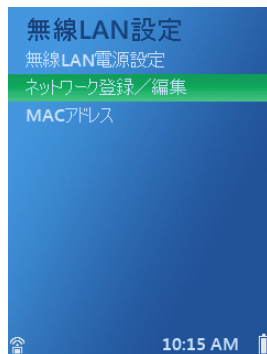
AOSSを使って、簡単にご使用のAirStation（株式会社バッファロー製のアクセスポイント）と接続できます。

AOSS（AirStation One-Touch Secure System）とは、株式会社バッファローが導入した簡単に無線LANの設定ができるシステムで、面倒だった無線LANの設定がAOSSボタンのワンタッチでできます。

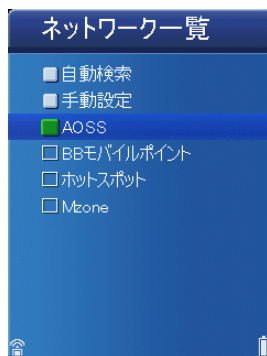
1 スタート画面から［無線LAN設定］を選んで、OKボタンを押す

無線LAN設定のメニュー画面が表示されます。

2 ［ネットワーク登録／編集］を選んでOKボタンを押す

ネットワーク一覧画面が表示されます。

3 AirStationのAOSSスイッチを押す

4 ［AOSS］を選んでOKボタンを押す

自動的にAirStationが検索され、接続設定が行われます。

5 「AirStationとの接続を完了しました」と表示されたら、OKボタンを押す

メッセージ画面が消えます。

エラーメッセージが表示された場合は、「エラーメッセージ（本体）」の「無線LAN操作時」（➔133ページ）をご覧ください。

AirStationの接続状態については、AirStationの取扱説明書をご覧ください。

6 OKボタンを押して登録名を選ぶ

OKボタンを押すたびに登録名が変わります。

自宅1～2、会社1～2、学校1～2、外出先1～4から選択できます。

7 画面の一番下にある［確定］ボタンを選び、OKボタンを押す

設定した接続が、選んだ登録名で登録されます。

お知らせ

- プロキシーサーバーを使用する場合は、プロキシーのところに、プロキシーのアドレスを入力してください。（➔92ページ）

公衆無線LANサービスへの接続を登録する

駅、空港、ホテル、カフェ、ファーストフード店などで利用できる以下の公衆無線LANサービスへの接続を登録できます。

BBモバイルポイント	ソフトバンクテレコムが提供するサービス
ホットスポット	NTTコミュニケーションズが提供するサービス
Mzone	NTTドコモが提供するサービス

各サービスを利用するには各社との契約が必要です。詳しくは各社のホームページなどをご覧ください。

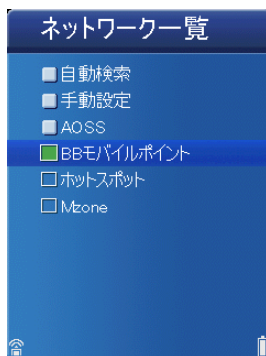
1 スタート画面から［無線LAN設定］を選んで、OKボタンを押す

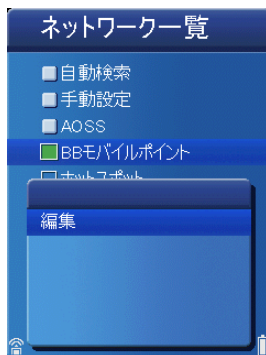
無線LAN設定のメニュー画面が表示されます。

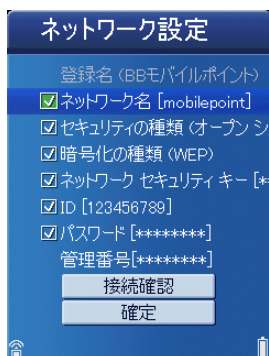
2 ［ネットワーク登録／編集］を選んでOKボタンを押す

ネットワーク一覧画面が表示されます。

3 接続したい公衆無線LANサービス名（[BBモバイルポイント]、[ホットスポット]、[Mzone]）を選んでOKボタンを押す

選択メニューが表示されます。

4 [編集] を選んでOKボタンを押す

ネットワークの設定画面が表示されます。

5 接続の設定をする

各項目で、OKボタンを押してください。押すたびに設定が切り換わります。

登録名	各公衆無線LANサービス名
ネットワーク名	各公衆無線LANサービスの申し込み時に通知されたESS-IDを入力します。(*1)
セキュリティの種類	[オープンシステム]を選びます。
暗号化の種類	[WEP]を選びます。
ネットワークセキュリティキー	各公衆無線LANサービスの申し込み時に通知されたWEPキーを入力します。(*1)
ID	各公衆無線LANサービスのログインIDを入力します。(*1)
パスワード	各公衆無線LANサービスのパスワードを入力します。(*1)

*1:入力のしかたは「キーボード画面での入力のしかた」(➔93 ページ)をご覧ください。

6 接続の確認をする

1 画面の[接続確認]ボタンを選び、OKボタンを押す

接続確認を実行し、接続結果の確認画面が表示されます。表示された電波状態のアイコンで、電波の強さも確認できます。

接続できることが確認できた場合は、「接続確認に成功しました。」と表示されます。

エラーメッセージが表示された場合は、「エラーメッセージ(本体)」の「無線LAN操作時」(➔133ページ)をご覧ください。

2 OKボタンを押す

確認画面が消えます。

7 画面の一番下にある[確定]ボタンを選び、OKボタンを押す

設定した公衆無線LANサービスの接続がgigabeatに登録されます。([BBモバイルポイント]を設定した場合は[BBモバイルポイント]のチェックボックスにチェックがはいります。)

お知らせ

- 複数のネットワークを登録した場合は、ネットワークに接続するときにネットワークの選択画面が表示されます。BBモバイルポイントに接続する場合は、そのとき[BBモバイルポイント]を選択してください。
- 設定した公衆無線LANサービス名を選んでOKボタンを押し、[設定を無効にする]を選んでOKボタンを押すと、その公衆無線LANサービスが選択できなくなります。

- 設定した公衆無線LANサービス名を選んでOKボタンを押し、［設定をデフォルトに戻す］を選んでOKボタンを押すと、設定がデフォルト（初期値）に戻ります。
- BBモバイルポイントローミングで使用される場合は、BBモバイルポイントの項目にIDとパスワードの入力をお願いします。なお、BBモバイルポイントローミングの使用にあたっては、契約されているサービス会社のホームページなどをご覧ください。
- 各サービス会社が提供するネットワーク名が異なるアクセスポイントへの接続はできません。（BBモバイルポイントローミングを除く）

登録したネットワークを削除する

1 スタート画面から［無線LAN設定］を選んで、OKボタンを押す

無線LAN設定のメニュー画面が表示されます。

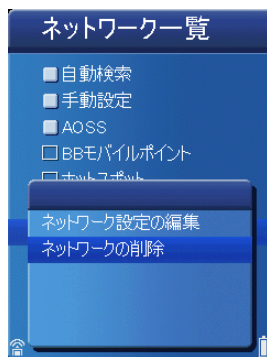
2 ［ネットワーク登録／編集］を選んでOKボタンを押す

ネットワーク一覧画面が表示されます。

3 削除したいネットワークを選んで、OKボタンを押す

選択メニューが表示されます。

4 ［ネットワークの削除］を選んでOKボタンを押す

削除の確認画面が表示されます。

5 ［YES］を選んでOKボタンを押す

選んだネットワークが削除されます。

登録したネットワークの設定を修正する

1 **スタート画面から［無線LAN設定］を選んで、OKボタンを押す**

無線LAN設定のメニュー画面が表示されます。

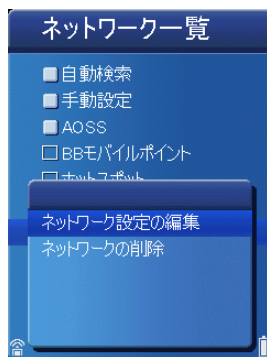
2 **［ネットワーク登録／編集］を選んでOKボタンを押す**

ネットワーク一覧画面が表示されます。

3 **修正したいネットワークを選んで、OKボタンを押す**

選択メニューが表示されます。

4 **［ネットワーク設定の編集］を選んでOKボタンを押す**

ネットワークの設定画面が表示されます。

5 **修正したい項目の内容を修正し、画面の一番下にある［確定］ボタンを選び、OKボタンを押す**

修正した設定で登録されます。

ポッドキャスト番組を登録する

ダウンロードしたいポッドキャスト番組を登録します。

● 先に無線 LAN の接続を設定してください。「無線 LAN の接続を設定する」（→88ページ）

プリセットから選択して番組を登録する

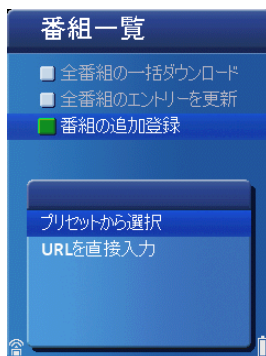
当社サーバーにいくつかの番組のURLを集めてあり、「プリセットから選択」を選ぶと、そこから情報をダウンロードし、番組を登録できます。

1 **スタート画面から［無線deダウンロード］を選んで、OKボタンを押す**

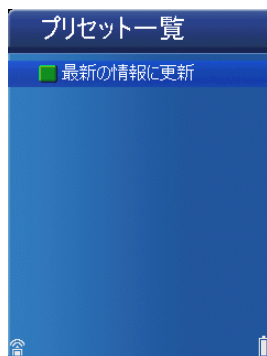
番組一覧画面が表示されます。

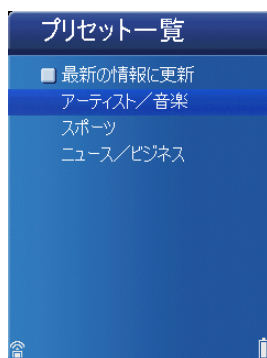
2 **［番組の追加登録］を選んでOKボタンを押す**

選択メニューが表示されます。

3 **［プリセットから選択］を選んでOKボタンを押す**

4 ［最新の情報に更新］を選んでOKボタンを押す

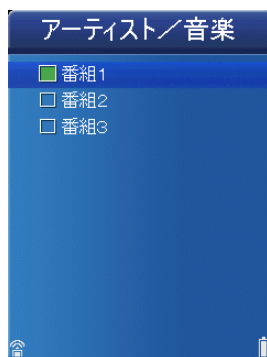
ネットワークに接続し、ダウンロードが開始されます。ダウンロードが終了すると、カテゴリの一覧画面が表示されます。

ネットワークの選択画面が表示された場合は、接続するネットワークを選んで、OKボタンを押してください。

5 カテゴリを選んでOKボタンを押す

選んだカテゴリのポッドキャスト番組の一覧画面が表示されます。

6 登録したいポッドキャスト番組を選んで、OKボタンを押す

選んだポッドキャスト番組が登録されます。

番組一覧画面に戻るには←バックボタンを２回押します。

ポッドキャストのエントリーをダウンロードするには、「ポッドキャストをダウンロードする」（➔103ページ）をご覧ください。

掲載画面は説明用であり、実際のプリセット一覧／番組とは異なります。

お知らせ

- 番組は30まで登録できます。
- 255文字を超えるURLの番組は、登録できません。

URLを直接入力して番組を登録する

1 スタート画面から［無線deダウンロード］を選んで、OKボタンを押す

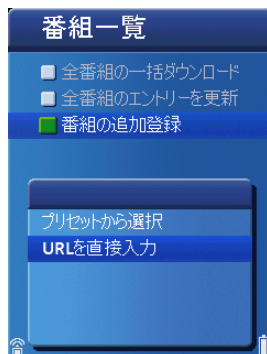
番組一覧画面が表示されます。

2 ［番組の追加登録］を選んでOKボタンを押す

選択メニューが表示されます。

3 ［URLを直接入力］を選んでOKボタンを押す

キーボード画面が表示されます。

URLを入力してください。入力のしかたは「キーボード画面での入力のしかた」（➔93ページ）をご覧ください。

お知らせ

- ポッドキャスト用のURLは、パソコンでポッドキャストの番組サイトに接続し、そのページ内の［RSS］などのボタンをクリックしたときに表示されるページのアドレスです。
- 番組を選んでOKボタンを押して表示される選択メニューから、［番組のURL編集］を選んでOKボタンを押すと、URLを修正できます。

ポッドキャストをダウンロードする

エントリー一覧を更新し、エントリーを選んでダウンロードする

登録したポッドキャスト番組のエントリー一覧を更新し、エントリーを選んでダウンロードできます。

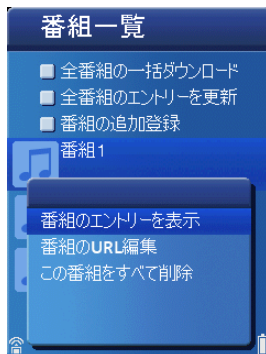
1 **スタート画面から［無線deダウンロード］を選んで、OKボタンを押す**

番組一覧画面が表示されます。

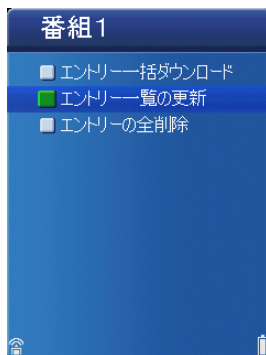
2 **エントリー一覧を表示したいポッドキャスト番組を選んで、OKボタンを押す**

選択メニューが表示されます。

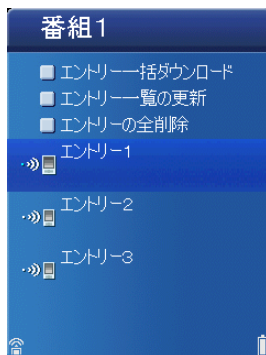
3 **［番組のエントリーを表示］を選んでOKボタンを押す**

エントリー一覧画面が表示されます。

4 **［エントリー一覧の更新］を選んでOKボタンを押す**

ネットワークに接続し、エントリー一覧の更新が開始されます。更新が終了すると、選んだポッドキャスト番組のエントリー一覧画面が表示されます。

ネットワークの選択画面が表示された場合は、接続するネットワークを選んで、OKボタンを押してください。

5 ダウンロードしたいエントリーを選んで、OKボタンを押す

ダウンロードが開始されます。ダウンロードが終了すると、登録完了の画面が表示されます。

ダウンロード済みのエントリーを選んだ場合は、選んだエントリーが再生されます。「ダウンロードしたエントリーを選んで聴く」（➔109ページ）

6 OKボタンを押す

登録完了の画面が消えます。

お知らせ

- 番組一覧画面で、［全番組のエントリーを更新］を選んで OK ボタンを押すと、登録したすべてのポッドキャスト番組のエントリー一覧を更新できます。
- エントリー一覧に表示できるエントリーは最大 50 件で、MP3 または WMA のオーディオデータ、WMVのビデオデータです。
- 再生できるMP3、WMA、WMVデータのビットレートについては、142ページ、143ページをご覧ください。
- ダウンロードを中断したい場合は、←バックボタンを押して表示された確認画面で、［YES］を選んでOKボタンを押してください。
- ダウンロードしたエントリーを再生するには、「ダウンロードしたエントリーを聴く」（➔109ページ）をご覧ください。

選んだ番組のエントリーを一括でダウンロードする

選んだ番組のエントリーを一括でダウンロードできます。

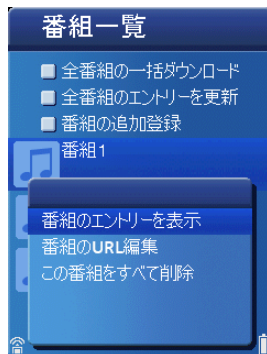
1 **スタート画面から［無線deダウンロード］を選んで、OKボタンを押す**

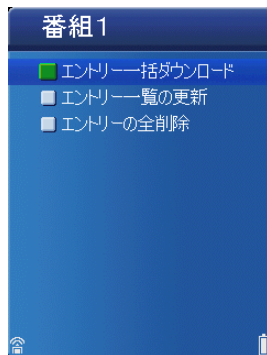
番組一覧画面が表示されます。

2 **ダウンロードしたいポッドキャスト番組を選んで、OKボタンを押す**

選択メニューが表示されます。

3 **［番組のエントリーを表示］を選んでOKボタンを押す**

選んだポッドキャスト番組のエントリー一覧画面が表示されます。

4 **［エントリー一括ダウンロード］を選んでOKボタンを押す**

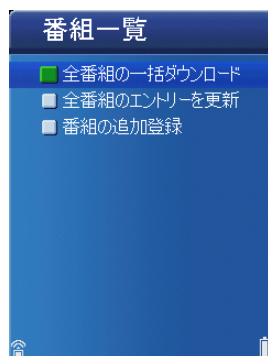
ネットワークに接続し、その番組のエントリー一覧を更新して、その中のダウンロードしていないエントリーすべてをダウンロードします。

すべての番組のエントリーを一括でダウンロードする

登録したすべての番組のエントリーを一括でダウンロードできます。

1 **スタート画面から［無線deダウンロード］を選んで、OKボタンを押す**

番組一覧画面が表示されます。

2 **［全番組の一括ダウンロード］を選んでOKボタンを押す**

ネットワークに接続し、登録したすべての番組のエントリー一覧を更新して、その中のダウンロードしていないエントリーすべてをダウンロードします。

ダウンロードしたポッドキャストを削除する

登録した番組とそのエントリーを削除する

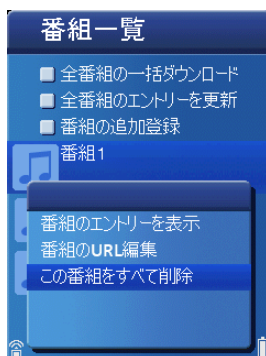
1 スタート画面から［無線deダウンロード］を選んで、OKボタンを押す

番組一覧画面が表示されます。

2 削除したいポッドキャスト番組を選び、OKボタンを押す

選択メニューが表示されます。

3 ［この番組をすべて削除］を選んでOKボタンを押す

削除の確認画面が表示されます。

4 ［YES］を選んでOKボタンを押す

番組名と、その番組のエントリー一覧とその番組からダウンロードしたすべてのエントリーが本機から削除されます。

お知らせ

- 同じアーティスト名（番組名）で同じ曲名（エントリー名）のデータがあった場合は、それも削除されます。
- 番組名が変更された場合は、変更前にダウンロードしたエントリーは削除されません。

エントリー一覧とそのエントリーを削除する

番組のエントリー一覧とその番組からダウンロードしたすべてのエントリーを本機から削除します。

1 **スタート画面から［無線deダウンロード］を選んで、OKボタンを押す**

番組一覧画面が表示されます。

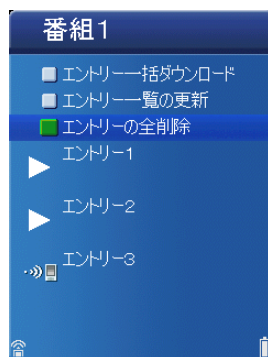
2 **エントリーを削除したいポッドキャスト番組を選んで、OKボタンを押す**

選択メニューが表示されます。

3 **［番組のエントリーを表示］を選んでOKボタンを押す**

選んだポッドキャスト番組のエントリー一覧画面が表示されます。

4 **［エントリーの全削除］を選んでOKボタンを押す**

削除の確認画面が表示されます。

5 **［YES］を選んでOKボタンを押す**

その番組のエントリー一覧とその番組からダウンロードしたすべてのエントリーデータが本機から削除されます。

お知らせ

- エントリーを個別に削除するには、マイミュージックから、削除したいエントリーを選び、［削除］を選んでOKボタンを押します。（➔110ページ）

ダウンロードしたエントリーを聴く

ダウンロードしたエントリーを選んで聴く

1 スタート画面から［無線deダウンロード］を選んで、OKボタンを押す

番組一覧画面が表示されます。

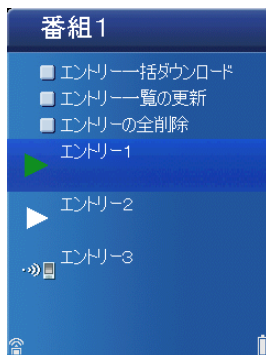
2 聴きたいポッドキャスト番組を選んで、OKボタンを押す

選択メニューが表示されます。

3 ［番組のエントリーを表示］を選んでOKボタンを押す

選んだポッドキャスト番組のエントリー一覧画面が表示されます。

4 聴きたいエントリーを選んでOKボタンを押す

再生画面が表示され、選んだエントリーが再生されます。

お知らせ

- ダウンロードしていないエントリーを選んだ場合は、ダウンロードが開始されます。
- 再生中に←バックボタンを押すと、再生をやめ、エントリー一覧画面に戻ります。

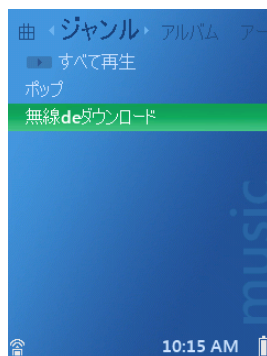
マイミュージックから選んで聴く

ダウンロードしたエントリーは、「音楽を選んで聴く」（➔39ページ）と同様に曲を選んで聴くことができます。

ジャンル名：	無線deダウンロード	アルバム名：	ポッドキャスト番組名
アーティスト名：	ポッドキャスト番組名	曲名：	エントリー名

1 スタート画面から［マイミュージック］を選んで、OKボタンを押す

2 プラスボタンの左または右を押して、［ジャンル］画面を表示させる

3 ［無線deダウンロード］を選んでOKボタンを押す

4 聴きたいアルバム名（ポッドキャスト番組名）を選んで、OKボタンを押す

5 聴きたい曲名（エントリー名）を選んで、OKボタンを押す

6 ［再生］を選んでOKボタンを押す

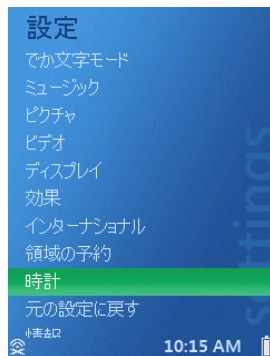
お知らせ

- 手順6で、［削除］を選ぶと、そのエントリーを削除できます。
- WMV データのエントリーをダウンロードした場合は、「ビデオを見る」（➔77ページ）と同様に、［マイビデオ］から選んで再生できます。

時刻表示を設定する

日付と時刻を設定する

gigabeatの日付と時刻を設定できます。
初めて電源を入れたときや電池残量が完全になくなったあと充電して電源を入れたときは、日付と時刻の設定画面が表示されますので、手順4～6にしたがって設定してください。

1 スタート画面から［設定］を選んで、OKボタンを押す

2 ［時計］を選んでOKボタンを押す

3 ［日付と時刻］を選んでOKボタンを押す

確認のメッセージが表示されます。

4 OKボタンを押す

確認画面のメッセージが消えます。

5 プラスボタンの左または右を押して、変更したい項目を選ぶ

右：年→月→日→時→分

左：右と逆方向

6 プラスボタンの上または下で値を変更する

7 すべて設定したら、OKボタンを押す

日付と時刻が設定されます。

お知らせ

- ←バックボタンを押すと、設定しないで前の画面に戻ります。

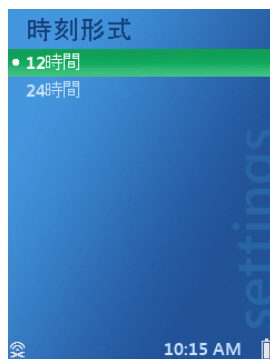
時刻形式を設定する

時刻表示を12時間表示（AM／PM表示）にするか24時間表示にするかを選びます。

1 スタート画面から［設定］を選んで、OKボタンを押す

2 ［時計］を選んでOKボタンを押す

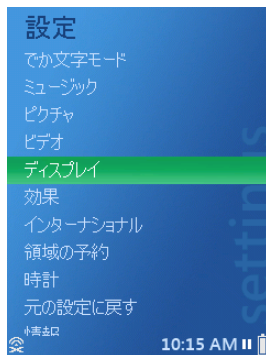
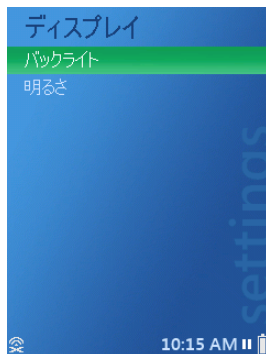
3 ［時刻形式］を選んでOKボタンを押す

4 ［12時間］または［24時間］を選んでOKボタンを押す

gigabeatの表示を変える

バックライトオフの時間を設定する

何も操作しない状態のときに、自動的に画面のバックライトが何秒後に消えるかを設定します。
バックライトを消した方が電池の消耗が小さいため、音楽の連続再生時間などが長くなります。

1 スタート画面から［設定］を選んで、OKボタンを押す

2 ［ディスプレイ］を選んでOKボタンを押す

3 ［バックライト］を選んでOKボタンを押す

4 何も操作しない状態になってからバックライトが消えるまでの時間を選んで、OKボタンを押す

［1秒］、［5秒］、［15秒］、［1分］、［常にオン］から選べます。

お知らせ

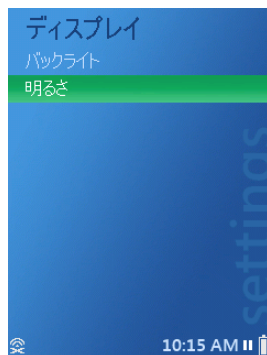
- テレビ番組の再生中、ビデオの再生中、フォトのスライドショー中、GyaOの視聴中、USB接続中、USB ACアダプター（別売）を使って充電時に音楽の再生中は、バックライトは常にオンになります。
- バックライトを［常にオン］に設定していても、何も操作しないと電池消耗を軽減するために約10分後に電源は切れます。（音楽の再生中、テレビ番組の再生中、ビデオの再生中、フォトのスライドショー中、ポッドキャストのダウンロード中、GyaOの視聴中、USB接続中、USB ACアダプター（別売）を使って充電中を除く。）
- バックライトオフのときに本体のボタンを押すと、画面が点灯し、その操作を受け付けます。

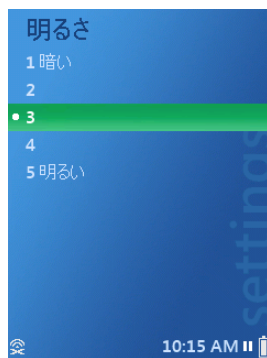
明るさを変える

gigabeat の画面全体の明るさを切り換えることができます。

1 スタート画面から［設定］を選んで、OKボタンを押す

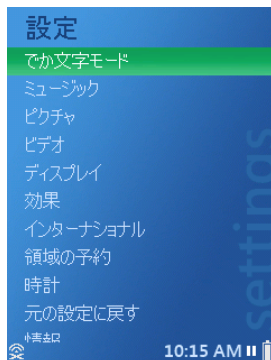
2 ［ディスプレイ］を選んでOKボタンを押す

3 ［明るさ］を選んでOKボタンを押す

4 設定したい明るさを選んで、OKボタンを押す

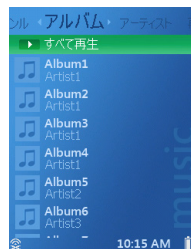
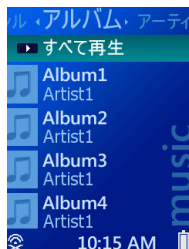
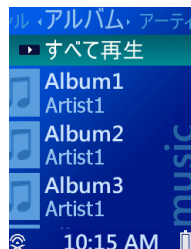
［1 暗い］、［2］、［3］、［4］、［5 明るい］から選べます。プラスボタンの上または下を押して切り換えると、その明るさを確認することができます。

文字を大きくする

文字を大きくした画面に切り換えることができます。

1 **スタート画面から［設定］を選んで、OKボタンを押す**

2 **［でか文字モード］を選んでOKボタンを押す**

3 **［標準］、［大］、［特大］から、設定したいモードを選んでOKボタンを押す**

確認のメッセージが表示されます。

［標準］の例

［大］の例

［特大］の例

4 ［はい］を選んでOKボタンを押す

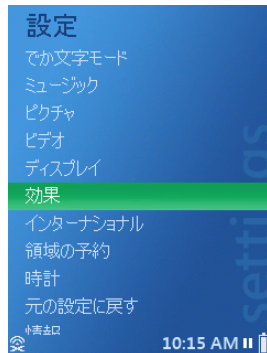
gigabeat が再起動して、選んだモードの画面に切り換わります。

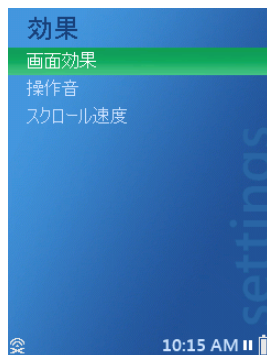
お知らせ

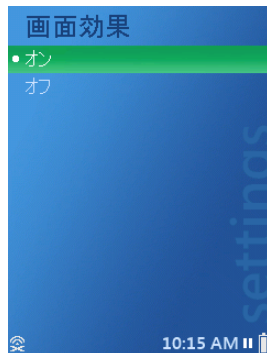
- ［大］や［特大］に設定すると、設定画面の［インターナショナル］、［領域の予約］、［元の設定に戻す］は表示されず、選択できません。
- ［大］や［特大］に設定すると、［設定］→［情報］→［バージョン情報］画面と［設定］→［情報］→［コンテンツ］画面では、表示されなくなる項目があります。（➔127ページ）
- 上記以外の画面でも、画面によっては、［大］や［特大］に設定すると、表示する内容が若干変わります。
- ［大］に設定したスタート画面は、［特大］と同じ大きさになります。
- 言語を日本語以外に設定した場合は、でか文字モードにできません。

効果をつける

gigabeatの操作で画面を移動するときに、フェード、スライド、ズームといった効果をつけることができます。（メニュー画面で、各項目を選んだときのズームインまたはズームアウト効果、メニュー画面から音楽の再生中画面にしたときのフェードアウト／イン効果、音楽の再生中画面でプラスボタンの左または右を押して別の再生中画面にしたときのスライド効果などがあります。）

1 スタート画面から［設定］を選んで、OKボタンを押す

2［効果］を選んでOKボタンを押す

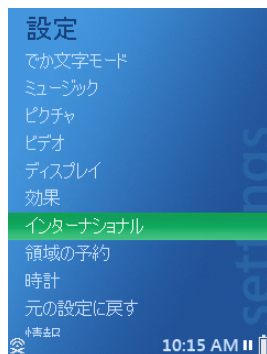
3［画面効果］を選んでOKボタンを押す

4 ［オン］を選んでOKボタンを押す

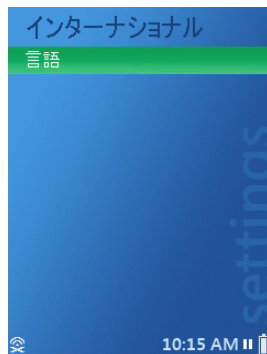
効果の設定が有効になります。

言語を設定する

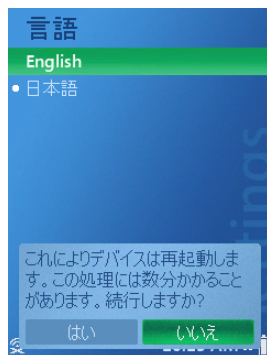
gigabeat の画面に表示する言語を切り換えることができます。

gigabeatに、音楽やビデオデータなどが15,000以上保存された状態では、言語の設定を切り換えることはできません。パソコンに接続して、gigabeatから音楽やビデオデータなどを削除して減らしてください。

1 スタート画面から［設定］を選んで、OKボタンを押す

2 ［インターナショナル］を選んでOKボタンを押す

3 ［言語］を選んでOKボタンを押す

言語の一覧が表示されます。

4 表示したい言語を選んで、OKボタンを押す

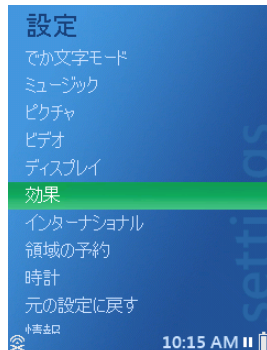
確認のメッセージが表示されます。

5 ［はい］を選んでOKボタンを押す

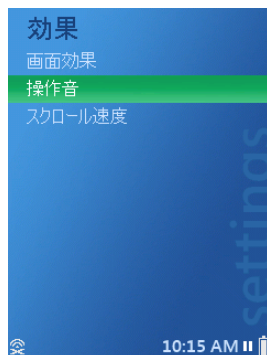
gigabeat が再起動して、表示する言語が切り換わります。

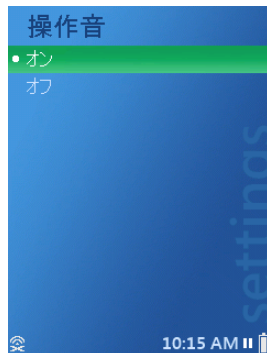
操作設定を変える

操作音をつける

gigabeat を操作するときに、操作音を出すことができます。

1 スタート画面から［設定］を選んで、OKボタンを押す

2 ［効果］を選んでOKボタンを押す

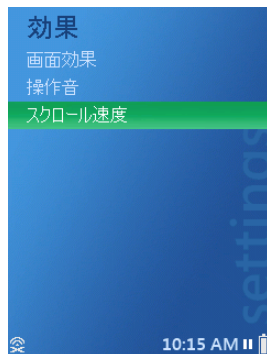
3 ［操作音］を選んでOKボタンを押す

4 ［オン］を選んでOKボタンを押す

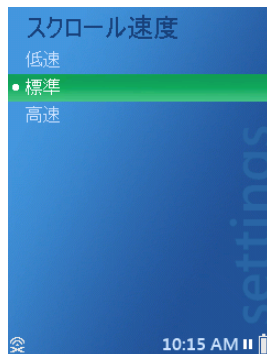
操作音を消したい場合は、［オフ］を選んでOKボタンを押します。

スクロールの速度を変える

gigabeat を操作するときの、動作速度を変えることができます。

1 スタート画面から［設定］を選んで、OKボタンを押す

2 ［効果］を選んでOKボタンを押す

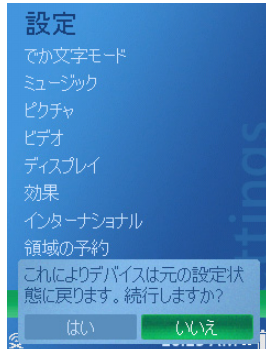
3 ［スクロール速度］を選んでOKボタンを押す

4 ［低速］、［標準］、または［高速］から選んで、OKボタンを押す

メニューや項目を選ぶときの動作速度が設定されます。

設定を元に戻す

［設定］メニューで設定した内容をクリアして、初期設定に戻すことができます。

1 スタート画面から［設定］を選んで、OKボタンを押す

2 ［元の設定に戻す］を選んでOKボタンを押す

確認のメッセージが表示されます。

3 ［はい］を選んでOKボタンを押す

メッセージが数秒間表示されて、設定が元に戻ります。

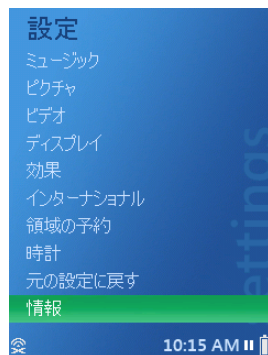
お知らせ

- 言語の設定は、初期設定に戻りません。
- 無線LAN電源設定（➔89ページ）などの無線LANの設定は、元に戻りません。

本機の情報を確認する

お使いのgigabeat の、現在の情報を確認します。
情報を確認するだけで、設定を変更することはできません。

1 スタート画面から［設定］を選んで、OKボタンを押す

2 ［情報］を選んでOKボタンを押す

3 ［バージョン情報］、［コンテンツ］、または［法的情報］から選んで、OKボタンを押す

バージョン情報

バージョン情報

東芝ポータブルメディアプレーヤー

gigabeat

ファームウェアバージョン 2.0
OSバージョン 2.21

(C) 2000-2006 Microsoft Corporation. この製品は、著作権に関する法律および国際条約により保護されています。

settings

10:15 AM

ソフトウェアのバージョンが表示されます。

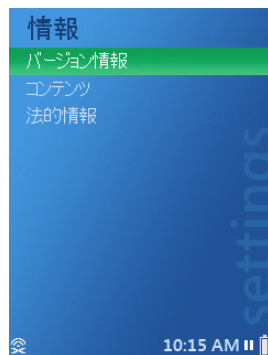
コンテンツ

コンテンツ

テレビ : 0 番組
ミュージック : 27 トラック
アルバム : 13 枚
ピクチャ : 10 項目
ビデオ : 2 項目

使用 : 0.35 GB
空き : 3.38 GB

settings

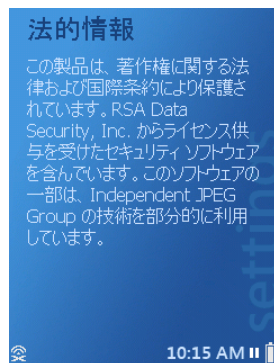
10:15 AM

gigabeatに保存されているコンテンツの数と使用／空き容量が表示されます。
でか文字モードにした場合は、各コンテンツ数は表示されません。

法的情報

法的情報

この製品は、著作権に関する法律および国際条約により保護されています。RSA Data Security, Inc. からライセンス供与を受けたセキュリティ ソフトウェアを含んでいます。このソフトウェアの一部は、Independent JPEG Group の技術を部分的に利用しています。

settings

10:15 AM

法的な情報が表示されます。

メニュー一覧

スタートボタンを押すと表示されるスタート画面から、以下のメニューが選べます。

<table>
<tr><td>無線deダウンロード</td><td colspan="2">番組一覧</td></tr>
<tr><td>GyaO（*1）</td><td colspan="2">カテゴリー一覧</td></tr>
<tr><td rowspan="2">マイテレビ</td><td colspan="2">日付順</td></tr>
<tr><td colspan="2">名前順</td></tr>
<tr><td rowspan="5">マイミュージック</td><td colspan="2">再生リスト</td></tr>
<tr><td colspan="2">曲</td></tr>
<tr><td colspan="2">ジャンル</td></tr>
<tr><td colspan="2">アルバム</td></tr>
<tr><td colspan="2">アーティスト</td></tr>
<tr><td rowspan="2">マイピクチャ</td><td colspan="2">フォルダ順</td></tr>
<tr><td colspan="2">日付順</td></tr>
<tr><td rowspan="3">マイビデオ</td><td colspan="2">日付順</td></tr>
<tr><td colspan="2">ソース順</td></tr>
<tr><td colspan="2">名前順</td></tr>
<tr><td rowspan="4">無線LAN設定</td><td rowspan="2">無線LAN電源設定</td><td>オン</td></tr>
<tr><td>・オフ</td></tr>
<tr><td>ネットワーク登録／編集</td><td>ネットワーク一覧</td></tr>
<tr><td colspan="2">MACアドレス</td></tr>
</table>

「・」のところ：初期設定値

（*1）［GyaO］は、キャンペーン期間中だけのメニューです。キャンペーン期間が終わると選べなくなります。

設定	でか文字モード	・標準	
		大	
		特大	
	ミュージック	シャッフル	・オフ
			オン
		リピート	・オフ
			オン
		イコライザ	・なし
			アコースティック
			クラシック
			エレクトロニック
			ヒップホップ
			ジャズ
			ポップ
			ロック
		Harmonics	・オフ
			professional
			dynamic
		表示時間	・経過時間
			残り時間
	ピクチャ	スライド間隔	3秒
			・5秒
			7秒
			10秒
			15秒
			30秒
		シャッフル	・オフ
			オン
		画面	・横
			縦
	ビデオ	画面	・横
			縦

「・」のところ：初期設定値

設定	ディスプレイ	バックライト	1秒
			5秒
			15秒
			・1分
			常にオン
		明るさ	1 暗い
			2
			・3
			4
			5 明るい
	効果	画面効果	・オン
			オフ
		操作音	・オン
			オフ
		スクロール速度	低速
			・標準
			高速
	インターナショナル	言語	English
			・日本語
	領域の予約	・なし	
		256MB	
		512MB	
		1GB	
		2GB	
	時計	日付と時刻	
		時刻形式	・12時間
			24時間
	元の設定に戻す	はい	
		いいえ	
	情報	バージョン情報	
		コンテンツ	
		法的情報	

「・」のところ：初期設定値

用語

MP3（MPEG-1 Audio Layer 3）

ISO（国際標準化機構）のワーキンググループであるMPEGが制定した国際規格。この圧縮方式では、約1/10から1/12の圧縮率が得られます。

Portable Media Center（ポータブルメディアセンター）

本機に搭載されている、米国マイクロソフト社が開発したOSで、「Windows　Mobile software for Portable Media Centers」とも呼ばれます。音楽や画像のほか、ビデオ、録画済みのテレビ番組のデータをパソコンから転送して再生します。
Windows Mobileは、Portable Media Centerを搭載したモバイルデバイス向けのプラットフォームとして提供されています。

Windows Media DRM10

米国マイクロソフト社の著作権保護技術で、Windows Media Player 10から対応しています。通常のコピー防止のほかに定額配信（サブスクリプション）にも対応しています。

Windows XP Media Center Edition 2005

Windows XP Professional をベースに、テレビ番組の視聴や録画、音楽の視聴といったマルチメディア機能が大幅に強化されたOSです。各メーカーが搭載パソコンを発売しており、Windows Media Player 10 と連動しています。

WMA (Windows Media Audio)

米国マイクロソフト社が開発した音声圧縮符号化方式、およびそれを使用したオーディオファイルです。

WMA 9 Lossless

米国Microsoft社が開発した音声コーデックです。Losslessとは、データの欠落がまったく起こらない圧縮方式のことです。Lossless圧縮によって圧縮されたデータの復号は、圧縮前のデータを完全に復元することが可能ですが、圧縮率は1/2程度になります。
取扱説明書に記載のWMA 9 Losslessは、パソコン上のWindows Media Player 10の中では「Windows Media オーディオ可逆圧縮」と表記されています。

WMV（Windows Media Video）

米国マイクロソフト社が開発した動画形式、およびそれを使用したビデオファイルです。

イコライザ

いくつかの周波数帯域ごとに、つまみなどで目盛りを増減して、音質をコントロールする装置や機能です。

エラーメッセージ（本体）

下表のようなエラーメッセージがgigabeat本体の画面に表示されることがあります。以下の対処方法に従ってください。

メッセージ	内容&対処方法
項目が見つからないか、再生できません。	再生しようとしているデータが削除された、または壊れている可能性があります。gigabeat にデータを転送し直してください。
この項目に対するライセンスの有効期限が切れています。	日付と時刻の設定が正しくないか、再生しようとしているデータのライセンスの有効期限が切れています。 日付と時刻の設定を確認し、正しくない場合は設定し直してください。 上記の対処を行っても再生できない場合は、そのデータを購読（SubscriptionまたはRental）しているパソコンで契約を更新し、gigabeat をそのパソコンと接続して同期（転送）し直してください。
この項目のライセンスに問題があります。	再生しようとしているデータのライセンスが壊れている、または無効です。インターネットに接続されたパソコンと同期（転送）し直してください。
この項目はサポートされていないフォーマットです。PCのWindows Media Playerでこの項目を削除し、もう一度同期してください。	データが壊れている可能性があります。gigabeat をパソコンと接続し、Windows Media Playerを使ってそのデータを削除し、もう一度同期（転送）し直してください。
エラーを回復するために、gigabeatが再起動され、すべてのメディア項目が削除されます。	OKボタンを押すと、フォーマットが開始され、再起動されます。フォーマットされるため、gigabeatに転送したファイルや録画した番組はすべて消去されます。
システムエラー	電源を入れ直してください。またはリセットして、再度電源を入れてください。

メッセージ	アクセスポイントを発見できませんでした。
内容＆対処方法：	
（対処１） 無線LANの電波環境がよくない可能性があります。 ● 本機の向きを変えてみてください。 ● アクセスポイントに本機を近づけてください。 ● アクセスポイントのチャネルを変えてください。（近くに隣接チャネルを使用している人がいる場合） （対処２） アクセスポイントが、【SSIDを通知しない（ANY接続を許可しない）】設定にしている場合、自動検索では発見できません。 アクセスポイントの【SSIDを通知しない（ANY接続を許可しない）】設定を解除し、再度［自動検索］を実行してください。 【SSIDを通知しない（ANY接続を許可しない）】設定を解除したくない（解除できない）場合は、手動で登録した［ネットワーク名］、［セキュリティの種類］、［暗号化の種類］、［ネットワークセキュリティキー］がアクセスポイントと合っているか確認してください。	

メッセージ	アクセスポイントと接続できませんでした。
内容＆対処方法：	
1. ［接続確認］を実施したときに表示された電波強度のアイコンの縦線の本数を確認してください。 電波強度が弱い場合（縦線2本以下）： 縦線の本数が3本程度になるまで、アクセスポイントに本機を近づけてください。 アクセスポイントがどこにあるか分からない場合は、場所を移動して、再度［接続確認］を実行してください。 電波強度が強い場合： 設定に誤りがある可能性があります。 ［無線LAN設定］➔［ネットワーク登録／編集］➔［ネットワーク一覧］で、接続したいネットワークの登録をいったん削除してください。 削除後、再度［自動検索］を実行してください。 検索実行後、接続したいネットワークを選択し、以下の項目を確認してください。 ［セキュリティの種類］、［暗号化の種類］にチェックがはいっていない場合： 本機はWPA-Personal、WPA2-Personalのみに対応しており、WPA-Enterprise、WPA2-Enterpriseには対応していません。アクセスポイントの設定をご確認ください。	

［セキュリティの種類］、［暗号化の種類］にチェックがはいっている場合：

［暗号化の種類］がWEP、TKIP、AESの場合は、［ネットワークセキュリティキー］を入力してください。

WEPの場合、［セキュリティの種類］を オープンシステム に設定して接続できない場合、共有キー に設定して再接続してみてください。なお、WEP keyを自動配信するモードには対応しておりませんので、アクセスポイントの設定を確認してください。

2. 上記の手順後も「アクセスポイントと接続できませんでした。」と表示される場合

（対処１）

アクセスポイントで、MACアドレスフィルタリングが設定されていると、接続できません。

アクセスポイントの設定をご確認いただくか、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

（対処２）

本機をリセットし、再度接続してみてください。

メッセージ	暗号化鍵が一致しませんでした。
内容＆対処方法：	
（対処１） ［ネットワークセキュリティキー］に誤りがあります。 アクセスポイントの［ネットワークセキュリティキー］を確認してください。 （対処２） 無線LANの電波環境がよくない可能性があります。 ● 本機の向きを変えてください。 ● アクセスポイントに本機を近づけてください。 ● アクセスポイントのチャネルを変えてください。（近くに隣接チャネルを使用している人がいる場合）	

メッセージ	IPアドレスを取得できませんでした。
内容＆対処方法：	
（対処１） アクセスポイントで、DHCPの設定が正しく設定されているか、IPアドレスの割り当て可能な数が足りているかを確認してください。詳細については、アクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。 （対処２） ［暗号化の種類］がWEPの場合、［ネットワークセキュリティキー］に誤りがある可能性があります。 アクセスポイントの［ネットワークセキュリティキー］を確認してください。 （対処３） ［暗号化の種類］がWEPの場合、アクセスポイントで【WEP keyを自動配信】に設定されている可能性があります。 アクセスポイントの設定を確認してください。本機は、【WEP keyを自動配信】に設定したアクセスポイントとは接続できません。	

メッセージ	インターネット接続に失敗しました。
内容＆対処方法：	
無線LANルータがインターネット接続されていない可能性があります。 無線LANルータの設定を確認してください。	

メッセージ	ネットワークが切断されました。
内容＆対処方法：	
（対処１） 無線LANの電波環境がよくない可能性があります。 ● 本機の向きを変えてみてください。 ● アクセスポイントに本機を近づけてください。 （対処２） アクセスポイントの設定が変更された可能性があります。 そのネットワークの設定をアクセスポイントと同じ設定に変更してください。 もしくは、そのネットワークの設定をいったん削除したあと、［自動検索］を実行して再登録してください。	

メッセージ	サーバとの接続に失敗しました。
内容＆対処方法：	
しばらく待ってから再度、接続してみてください。	

メッセージ	サーバとの接続が切断されました。
内容＆対処方法：	
無線LANの電波環境がよくない可能性があります。 ● 本機の向きを変えてみてください。 ● アクセスポイントに本機を近づけてください。	

メッセージ	プリセット一覧が正しく読み込めませんでした。
内容＆対処方法：	
（対処１） 無線LANの電波環境がよくない可能性があります。 ● 本機の向きを変えてみてください。 ● アクセスポイントに本機を近づけてください。 （対処２） プリセット一覧画面で「最新の情報に更新」をやり直してください。	

メッセージ	エントリーが正しく読み込めませんでした。
内容＆対処方法：	
［URLを直接入力］で、ポッドキャスト用のRSSファイルでないURLを入力した場合に表示されます。正しいURLを入力してください。 ポッドキャスト用のURLは、パソコンでポッドキャストの番組サイトに接続し、そのページ内の［RSS］などのボタンをクリックしたときに表示されるページのアドレスです。	

メッセージ	ダウンロードに失敗しました。
内容＆対処方法：	
（対処１） 指定したコンテンツが存在していない可能性があります。 エントリー一覧の更新を実行してみてください。 （対処２） 番組サイトが非常に混み合っている可能性があります。 時間をおいて、ダウンロードを実行してみてください。	

メッセージ	AOSSモードのアクセスポイントが見つかりませんでした。
内容＆対処方法：	
（対処１） 無線LANの電波環境がよくない可能性があります。 ● 本機の向きを変えてみてください。 ● アクセスポイントに本機を近づけてください。 （対処２） アクセスポイントのAOSSボタンが押されていない可能性があります。 アクセスポイントがAOSSモードで動作していることを確認してください。	

メッセージ	セキュリティ情報交換中にエラーが発生しました。
内容＆対処方法：	
無線LANの電波環境がよくない可能性があります。 ● 本機の向きを変えてみてください。 ● アクセスポイントに本機を近づけてください。	

メッセージ	セキュリティ文字列に不適合な文字がありました。
内容＆対処方法：	
アクセスポイントの電源を入れ直して、再度AOSSを実行してください。	

メッセージ	AOSS動作中にエラーが発生しました。
内容＆対処方法：	
アクセスポイントの電源を入れ直して、再度AOSSを実行してください。	

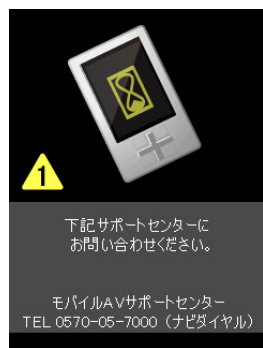
メッセージ	ログインページへのリダイレクトに失敗しました。
内容＆対処方法：	
無線LANの電波環境がよくない可能性があります。 ● 本機の向きを変えてみてください。 ● アクセスポイントに本機を近づけてください。	

メッセージ	ログイン認証に失敗しました。
内容＆対処方法：	
公衆無線LANサービスのIDもしくは、パスワードに誤りがあります。 IDとパスワードの確認をしてください。	

メッセージ	サーバーサイトの証明書チェックでエラーが発生しました。
内容＆対処方法：	
しばらく待ってから再度、接続してみてください。	

メッセージ	認証サーバー側でエラーが発生しました。
内容＆対処方法：	
しばらく待ってから再度、接続してみてください。	

メッセージ	ネットワークエラーが発生しました。
内容＆対処方法：	
無線LANの電波環境がよくない可能性があります。 ● 本機の向きを変えてみてください。 ● アクセスポイントに本機を近づけてください。	

異常があった場合、下図のようなエラーメッセージが表示されます。このときはリセットをしてください。（➔140ページ）

リセット後、電源を入れるとスタート画面が表示されます。
スタート画面が表示されずエラーメッセージに戻ってしまう場合は、モバイルAVサポートセンター（➔152ページ）にご相談ください。

故障かな…？と思ったときは

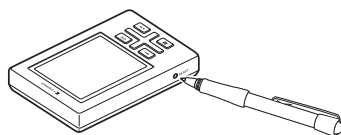
故障かな…？とお思いのときは、アフターサービスをご依頼になる前に、次の点をお調べください。

現象	原因	対処	参照
電源がはいらない、ボタンを押しても動作しない	内蔵電池の残量がなくなっている。	USBケーブルでパソコンと接続して、内蔵電池を充電してください。	→23ページ
	ロック状態になっている。	ロックスイッチを戻し、ロック状態を解除してください。	→20ページ
	パソコンと接続している。	パソコンと接続しているときは本体の操作はできません。	→24ページ
充電してもすぐに残量がなくなる	内蔵電池が劣化している。	新しい内蔵電池に交換してください。内蔵電池の交換は、モバイルAVサポートセンターへご依頼ください。	→17ページ
再生できない	音楽データがない。	Windows Media Player 11または10を使って音楽データを転送してください。	→33ページ
音が聞こえない	ヘッドホンが正しく接続されていない。	ヘッドホンと本体の接続を確認してください。	→39ページ
	音量の調節が最小になっている。	音量を調節してください。	→44ページ
充電操作をしても充電中の画面にならない	正しく接続されていない。	USBケーブルと本体の接続を確認してください。	→23ページ
	使用温度の範囲をはずれている。	使用温度の範囲内で充電してください。	→24ページ
パソコンがgigabeatを認識しない	パソコンと正しく接続されていない。	パソコンとの接続を確認してください。	→23ページ

リセットする

もしも上記の対処法でも現象が解決しない場合などには、本体を以下の方法でリセットしてみてください。

本体左側のリセットスイッチを押す

先の細いボールペンなどで押してください。

お願い

- リセットしても、設定は初期状態には戻りません。設定を初期状態に戻すには、［設定］→［元の設定に戻す］を実行してください。（➔125ページ）
- リセットスイッチはむやみに押さず、電源を入れ直しても復帰しなかったときに押してください。

よくある質問

Q: パソコンでgigabeatが認識されない。

A: USB ハブを使用してパソコンと接続している場合は認識できないことがあります。USBハブを使用しないでパソコンと接続してください。

Q: オーディオデータをgigabeatに転送できない。

A: gigabeatで再生できないオーディオデータはgigabeatに転送できません。gigabeatで再生できるオーディオデータについては「サンプリング周波数とビットレートの組合せについて」(➔143ページ)をご覧ください。

Q: gigabeat での表示言語を変更したら、元に戻す方法がわかりません。

A: 以下に従って、言語を設定してください。

1 **スタートボタンを押してスタート画面を表示させる**

2 **一番下の項目を選んでOKボタンを押す**

3 **下から5番目の項目［international］を選んでOKボタンを押す**

4 **一番上の項目を選んでOKボタンを押す**

5 **元に戻したい言語を選んで、OKボタンを押す**
確認のメッセージが表示されます。

6 **プラスボタンの左または右を押して左の選択肢を選んで、OKボタンを押す**
gigabeat が再起動して、表示する言語が切り換わります。

仕様

形名	MET401	MET802
再生オーディオ形式（*1）	● WMA (Windows Media Audio) ● WMA 9 Lossless ● MP3 (MPEG-1 Audio Layer3) ● WAV (PCM)	
再生ビデオ形式（*1）	● WMV V7/ V8/ V9 (Windows Media Video V7/ V8/ V9)	
再生静止画形式（*1）	● JPEG（最大9000×6000）	
サンプリング周波数	8kHz～48kHz （➔143ページ）	
ビットレート	オーディオデータ：4kbps～320kbps （➔143ページ） ビデオデータ：800kbps以下 （ビデオデータのビットレートは、オーディオ＋ビデオの値です。）	
記録媒体	内蔵フラッシュメモリ4GB（*2）	内蔵フラッシュメモリ8GB（*2）
収録時間	オーディオ： 約64時間（128kbps時） ビデオ： 約16時間（500kbps時）	オーディオ： 約128時間（128kbps時） ビデオ： 約32時間（500kbps時）
連続再生時間（*3）	オーディオ：約16時間（*4） （128kbps、44.1kHz のWMA オーディオデータ、バックライト非点灯の場合。Windows Media DRM10で保護されたコンテンツを除く。） ビデオ：約5時間 （明るさ設定3（工場出荷時の設定）の場合） （500kbpsのWMVビデオデータの場合。Windows Media DRM10で保護されたコンテンツを除く。）	
無線LAN	準拠規格： IEEE802.11b/g	
使用条件	温度：5℃～35℃　湿度：30%～80%（RH） （ただし結露しないこと）	
表示画面	2.4型QVGA TFTカラー液晶（320×240ドット）（*5）	
USB端子	USB2.0/USB1.1（*6）	
ヘッドホン端子	3.5mmジャック／ステレオタイプ 負荷インピーダンス16Ω	
S/N比	95dB以上	
外形寸法	幅54.0mm×高さ85.6mm×奥行9.9mm（突起部除く）	

質量	約58g（本体のみ）
電源	内蔵リチウムイオン充電池、USB充電

*1：データが壊れている場合など、その形式すべての再生を保証するものではありません。
*2：本書の容量記載は、フラッシュメモリーの標準に従い、1GBは2^{30}=1,073,741,824バイトで算出しています。また、Windows Media Playerでデバイス情報を見ると残容量が見えますが、これも同じ方法で算出している数値です。
gigabeatには基本ソフトウェア、アプリケーションがプレインストールされているため空き容量はより少なくなります。
実際に音楽などのコンテンツを保存に利用できる容量は、表記の容量より少なくなります。
*3：フル充電にし、常温（25℃）、工場出荷時の音量の場合。これらの連続再生は、使用条件、使用周囲温度、内蔵電池の充電繰返し回数などによって変わるため、あくまでも目安であり、保証する時間ではありません。使用条件の範囲内でも低温の環境で使うと連続再生は短くなります。
*4：H2C Technology(Harmonics)による再生およびWAVオーディオデータやWMA 9 Losslessの再生は、電池の消耗が大きいため、HarmonicsオフおよびMP3やWMAに比べて連続再生時間が大幅に短くなります。
*5：カラー液晶は、非常に高精度の技術で作られております。非点灯、常時点灯などの表示（画素）が存在することがありますが、故障ではありません。あらかじめご了承ください。
*6：USB 2.0で動作するには、USB 2.0インターフェースを標準搭載、または増設しているパソコンが必要です。USB1.1インターフェースと接続すると、USB1.1として動作します。

サンプリング周波数とビットレートの組合せについて

gigabeatで再生できるオーディオデータは、サンプリング周波数とビットレートの組合せが以下のとおりとなります。これ以外の組合せのオーディオデータは、正常に再生できない場合があります。

MP3（ステレオ）の場合

サンプリング周波数：8kHz、16kHz、22.05kHz、32kHz、44.1kHz、48kHz
ビットレート：32kbps～320kbps

MP3（モノラル）の場合

サンプリング周波数：8kHz、11kHz、16kHz、22.05kHz、32kHz、44.1kHz
ビットレート：16kbps～64kbps

WMA（ステレオ）の場合

サンプリング周波数：8kHz、16kHz、22.05kHz、32kHz、44.1kHz、48kHz
ビットレート：　CBR 32kbps～320kbps、VBR 32kbps～355kbps

WMA（モノラル）の場合

サンプリング周波数：8kHz、11kHz、16kHz、22.05kHz、32kHz、44.1kHz
ビットレート：　CBR 5kbps～48kbps

WMA（VOICE）の場合

サンプリング周波数：8kHz、11kHz、16kHz、22.05kHz、32kHz、44.1kHz
ビットレート：　4kbps～20kbps

WAV（ステレオ／モノラル）の場合

サンプリング周波数：8kHz、16kHz、22.05kHz、32kHz、44.1kHz、48kHz
ビットレート：　非圧縮
サンプリング周波数44.1kHz、8ビット、ステレオのデータの場合、正常に再生できません。

WMA 9 Losslessの場合

サンプリング周波数:　8kHz、16kHz、22.05kHz、32kHz、44.1kHz、48kHz

- 意匠、仕様などは改良のため予告なく変更することがあります。
- この取扱説明書に描かれているイラスト、画面表示などは見やすくしているために実際とは多少異なる場合があります。
- アイコンの表示位置などは変更になる場合があります。

無線LANについて

■本製品を日本でお使いの場合のご注意

- 日本では、本製品を第二世代小電力データ通信システムに位置付けており、その使用周波数帯は2,400MHz〜2,483.5 MHzです。この周波数帯は、移動体識別装置（移動体職別用構内無線局及び移動体職別用特定小電力無線局）の使用周波数帯2,427MHz〜2,470.75 MHzと重複しています。

【ステッカー】

この機器の使用周波数帯は2.4GHz帯です。この周波数では電子レンジ等の産業・科学・医療機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用されている免許を要する移動体識別用の構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局等（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。

1.この機器を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2.万一、この機器と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかにこの機器の使用場所を変えるか、又は機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
3.その他、電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、モバイルAVサポートセンターへお問い合わせください。

【現品表示】

（1）（2）（3）

2. 4DSOF4
■■■

（4）

（1）	2.4	：2,400 MHz帯を使用する無線設備を表す。
（2）	DS	：変調方式がDS-SS方式であることを示す。
	OF	：変調方式がOFDM方式であることを示す。
（3）	4	：想定される与干渉距離が40m以下であることを示す。
（4）	■■■	：2,400MHz〜2,483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味する。

■機器認証表示について

本製品は、電波法及び電気通信事業法に基づく小電力データ通信システムの無線局として、工事設計認証を受けております。したがって、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。

無線設備名：MET401
株式会社　東芝
認証番号：001WWCA1003（1〜13ch）
　　　　　001GZCA1089（14ch）

無線設備名：MET802
株式会社　東芝
認証番号：001WWCA1020（1〜13ch）
　　　　　001GZCA1091（14ch）

■お客様に対するお知らせ

【無線製品の相互運用性】

本製品は、Direct Sequence Spread Spectrum(DSSS)/Orthogonal Frequency Division Multiplexing(OFDM)無線技術を使用するあらゆる無線LAN製品と相互運用できるように設計されており、次の規格に準拠しています。

- Institute of Electrical and Electronics Engineers(米国電気電子技術者協会)策定のIEEE 802.11
  Standard on Wireless LANs(Revision B/G)(無線LAN標準規格(版数B/G))
- Wi-Fi Allianceの定義するWireless Fidelity(Wi-Fi)認証。Wi-Fi CERTIFIEDロゴはWi-Fi Allianceの認定マークです。

【健康への影響】

無線LAN製品はほかの無線製品と同様、無線周波の電磁エネルギーを放出します。しかしその放出エネルギーは、携帯電話などの無線機器と比べるとはるかに低いレベルに抑えられています。
本製品の動作は無線周波に関する安全基準と勧告に記載のガイドラインにそっており、安全にお使いいただけるものと東芝では確信しております。この安全基準および勧告には、学会の共通見解と、多岐にわたる研究報告書を継続的に審査、検討している専門家の委員会による審議結果がまとめられています。
だたし周囲の状況や環境によっては、建物の所有者または組織の責任者が無線LANの使用を制限する場合があります。以下にその例を示します。

- 飛行機の中で無線LAN装置を使用する場合
- ほかの装置類またはサービスへの電波干渉が認められるか、有害であると判断される場合

個々の組織または環境(空港など)において無線機器の使用に関する方針がよくわからない場合は、無線LAN装置の電源を入れる前に、管理者に使用の可否について確認してください。

■本製品がサポートする周波数帯域

周波数帯域	2400-2497 MHz
チャネルID	
1	2412
2	2417
3	2422
4	2427
5	2432
6	2437
7	2442
8	2447
9	2452
10	2457
11	2462
12	2467
13	2472
14	2484

内蔵電池の取り出しかた

gigabeatを廃棄するとき、内蔵電池を取り出してください。
廃棄するとき以外は、gigabeatを絶対に分解しないでください。
内蔵電池の取り扱いについては下記注意事項をご覧いただきました、17ページをご覧ください。

⚠危険

内蔵電池にクギを刺したり、カナヅチでたたいたり、踏みつけたり、強い衝撃を与えたりしないこと
電極がショートすると、発熱・破裂・発火する原因となります。

内蔵電池の電極（＋端子と－端子）を針金などの金属で接続しないこと。また、金属製のネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管しないこと
電極がショートすると、発熱・破裂・発火する原因となります。

内蔵電池を加熱したり、分解・改造したり、火や水の中に入れないこと
破裂・発火・発熱によって、火災・大けがの原因となります。

火のそばや炎天下などに置かないこと
火災・破裂・発熱の原因となります。

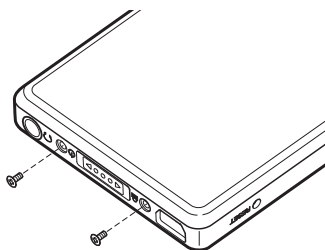
熱器具に近づけないこと
火災・破裂・発熱の原因となります。

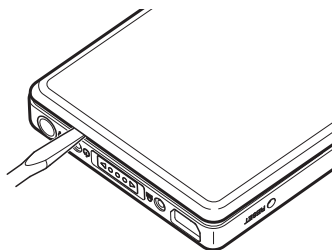
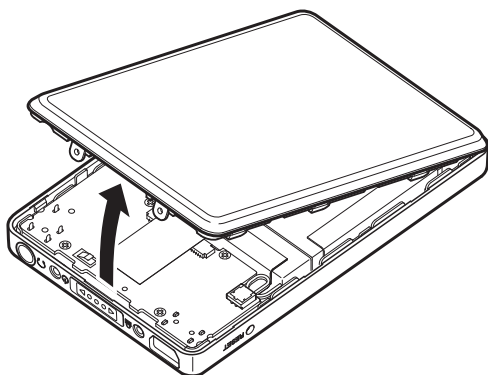
内蔵電池のコネクターに絶縁テープを貼ること
電極がショートすると、破裂・発火のおそれがあります。

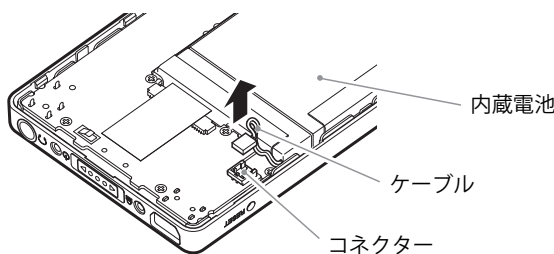
警告

内蔵電池は、幼児の手の届く場所に置かないこと
けが・事故の原因となります。

内蔵電池の液がもれて目にはいったときは、すぐにきれいな水で目を洗い、医師の診療を受けること
そのままにしておくと、目に障害が起きる原因となります。

1 背面を上にして置き、底面のネジ２箇所を精密ドライバー（＋）ではずす

2 トップカバーとバックカバーの隙間に、小さいマイナスドライバーなどの工具を差し込んで、隙間を広げる

ネジ穴のすぐ上のところ（２箇所どちらでも構いません）に差し込んでください。
２箇所以外のところでは、ドライバーが奥まで入りこみ、ショートするおそれがあります。

3 バックカバーを上に開いてはずす

4 コネクターをはずす

ケーブルを矢印方向（上方向）に引っ張って、コネクターをはずしてください。

5 内蔵電池を取り出す

6 ケーブルを電池本体に貼り付け、ポリ袋などに入れる

ケーブルのコネクター部分をテープでおおうようにして電池本体に貼り付け、ポリ袋などに入れてください。

お願い

- 内蔵電池は完全に消耗したことを確認してから、取りはずしてください。
- 一度取り出した内蔵電池は、再度コネクターに接続しないでください。
- 取り出した内蔵電池はなるべく早めに充電式電池リサイクル協力店（→17ページ）へお持ちください。

保証とアフターサービス

必ずお読みください。

保証書（別添）

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みのあと、たいせつに保管してください。

部品について

修理のために取りはずした部品は、特段のお申し出がない場合は弊社で引き取らせていただきます。

修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

補修用性能部品について

- 補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後6年です。
- 補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるときは

「故障かな…？と思ったときは」（➔139ページ）をご覧になって調べていただき、なお異常のあるときは、使用を中止し、「モバイルAVサポートセンター」（➔152ページ）にご相談ください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定にしたがって修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望によって有料で修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容	
品　　　名	ポータブルメディアプレーヤー
形　　　名	MET401/MET802
お買い上げ日	年　　月　　日
故 障 の 状 況	できるだけ具体的に
ご　住　所	
お　名　前	
電 話 番 号	

「モバイルAVサポートセンター」

使いかた、修理、故障、アプリケーションソフトに関するお問い合わせ窓口

TEL：0570-05-7000（ナビダイヤル）

FAX：03-3258-0470

受付時間：月～土 10:00～20:00（祝祭日、年末年始等、当社休業日を除く）

ホームページもご覧ください。
http://www.gigabeat.net/

株式会社 東芝

デジタルメディアネットワーク社

〒105-8001　東京都港区芝浦1－1－1

＊所在地は変更になることがありますのでご了承ください。

T401_T802_01_JP_JP